

子供に対する歯ブラシの安全に関するアンケート調査結果

【子供における歯みがきについて】

- 本調査の対象年齢である 1 歳から 5 歳では、子供のひとりみがき後に保護者が仕上げ磨きをする割合が 75.0%と最も高い。
- 保護者による仕上げみがきは、子供が使用している歯ブラシを使用することが多く、77.9%となっている。

【子供が使用する歯ブラシ】

- 1 歳では「コブ付タイプ」や「安全具付タイプ」等、喉突き防止対策を施したものを使用している割合が 3 割となっている。2 歳以降になると「通常タイプ」の使用者がほぼ 9 割に達し、5 歳まで同様の傾向となっている。
- 歯ブラシの選択理由は「ヘッドの大きさ」が 44.5%と最も高く、次いで「価格」が 33.8%、「キャラクター」が 31.0%となっている。
- 歯ブラシの購入チャネルは「薬局・ドラッグストア」が 74.5%と最も高く、次いで「スーパー」が 29.0%となっており、多くの購入者が実店舗で実物を手に取って購入している。

【保護者が使用する歯ブラシ】

- 「通常タイプ」が 60.0%と最も多く、次いで「仕上げ用」が 24.7%となっている。喉突き防止タイプの歯ブラシを使用しているケースは 1 割程度となっている。
- 歯ブラシの選択理由は「ヘッドの大きさ」が 45.5%と最も高く、次いで「毛の硬さ、やわらかさ」が 32.6%、「価格」が 28.2%となっている。子供の年齢が上がると、保護者が歯ブラシを選ぶ理由は安全面から歯みがきの効果の高いものへと意識が変化する。

【子供の歯みがき実態】

- 子供の 1 人みがきは半数以上が 2 歳 0～5 ヶ月までに歯みがきを開始している。2 歳になる前に 82.5%が保護者による歯みがきを始めている。
- 子供の一人みがきの頻度は「一日 2 回」との回答が最も多く、43.5%となっている。年齢が上がる毎に“一日 2 回以上”（「一日 2 回」＋「一日 3 回以上」）みがいている子供が増える。
- 保護者による歯みがきの頻度は「一日 1 回」との回答が 52.8%と最も多い。頻度は 3 歳をピークに減少し、5 歳では「一日 1 回」との回答が 50.3%と半数を超える。
- 子供の一人みがきをする場所は「居間」との回答が 58.5%と最も多く、次いで「洗面所」が 48.1%となっている。
- 一人みがきをする時の姿勢は「床に立って」との回答が 44.3%と最も多く、次いで「床に座って」が 33.5%となっている。保護者が歯みがきをする時は「保護者の膝の上に乗せて、頭が動かないようにして」との回答が 44.3%と最も多い

【歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害経験】

- “経験がある”（「はい（子供の一人みがき）」＋「はい（保護者による歯みがき）」）との回答は 16.0%となり、子供の一人みがき中のヒヤリ・ハットや危害経験が多くなっている。1 歳から 3 歳前半までの経験者が 82.5%と 8 割強に達する。
- 発生場所は「自宅の居間」との回答が 53.8%と最も多く、半数を超えている。次いで、「自宅の洗面所」が 29.4%、「自宅の寝室」が 10.6%と続く。
- 発生原因は「ころんだ」との回答が 68.1%と最も多く、半数を超えている。次いで、「台から転落した」が 11.9%となっている。
- 保護者がヒヤリ・ハットや危害の経験が発生した原因と考えていることについては、「保護者

が目を離してしまった」が40.0%と最も高く、次いで「くわえたまま移動しない、歯ブラシで遊ばないなど、子供に注意していなかった」が36.3%と続き、保護者の不注意や指導不足を原因と考える割合が高くなっている。

- ヒヤリ・ハットや危害を経験した際に、製品についてどこかに報告したかどうかを尋ねた結果については、どこにも「報告しなかった」との回答が91.3%と9割を占める。どこにも報告しなかった理由として“保護者や本人の責任だから”との回答が67件と最も多く、次いで“けがをしていないから”、“製品の問題ではないから”との回答がそれぞれ18件と続く。

【子供の歯みがき事故に関する認知度】

- 「事故があることも、中には重症事例があることも知っている」との回答は全体で67.7%、「事故が起きていることは知っているが、重症事例があることは知らない」との回答は22.9%となり、事故が起きていることを知っている割合は90.6%と9割に達している。
- 子供の歯ブラシパッケージの裏側等の注意表記を“読んでいない”（「注意表記があることは知っているが読んでいない」＋「注意表記がない、気付かない」）が68.3%となっており、6割以上の保護者が注意表記を読んでいない。子供の年齢別に比較すると、1歳では「注意表記を確認している」は4割を超えているが、2歳以上になると3割程度となっている。

※「子供の一人みがき」とは、保護者が仕上げみがきをする、しないに関わらず、子供自身が歯ブラシを持って歯をみがくことをいう。

第1 調査概要

1 調査目的

子供の歯ブラシの使用実態と、歯ブラシに起因する危害やヒヤリ・ハット事例を収集し、整理分析を行う。

2 調査設計

1) 調査対象者

東京都（全域）に居住し、子供を育てている男女 1,000 人。

※調査は主に都内在住者を対象として実施し、不足する部分について都内在勤または在学者にて補完した。

【サンプル内訳】

	合計	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
合計 (人)	1,000	200	200	200	200	200
割合 (%)	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

※ 回収サンプル設計（年齢別目標数各 200 名）に基づき、対象者が予定数に達した時点で調査終了とした。

2) 調査方法

WEB を利用したインターネットアンケート調査

3) 調査期間

平成 28 年 8 月 22 日（月曜日）～平成 28 年 8 月 28 日（日曜日）（計 7 日間）

4) 調査項目

- ① 子供の歯ブラシの使用実態
- ② 子供の歯ブラシに起因する危害やヒヤリ・ハット事例
- ③ 子供の歯ブラシに起因する事故防止対策の実施状況

5) 集計・分析に関する注釈

- ・ 回答比率（%）は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- ・ 設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- ・ グラフに表記される「N=*」「n=*」（*は数字）は、対象の母数を表す。Nはグラフ全体の母数、nは各項目の母数を表す。
- ・ グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。

第2 調査結果

1 子供における歯みがきの状況

1) 歯みがきの方法

子供は歯みがきをどのように行っているか、その方法について図1に示す。全体では「子供が一人みがきした後、保護者が仕上げみがきをする」が75.0%と最も高く、次いで「保護者による歯みがきのみ（子供自身はみがかない）」が21.4%となっている。

子供の年齢別に比較すると、1歳から4歳にかけて「子供が1人みがきした後、保護者が仕上げみがきをする」との回答が徐々に減少し、5歳では「子供の1人みがきのみ」が10.5%と増加する。

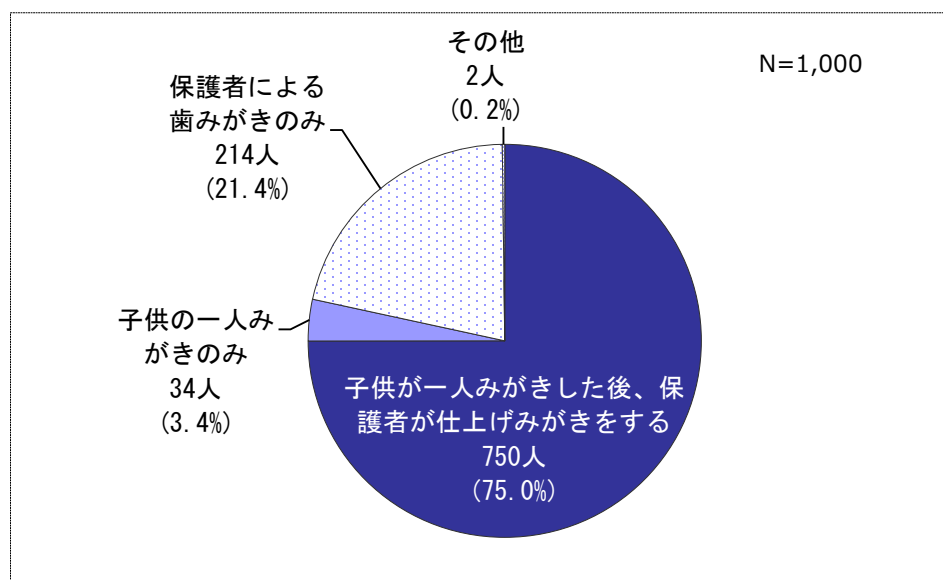


図1. 子供における歯みがきの方法（単数回答）Q1

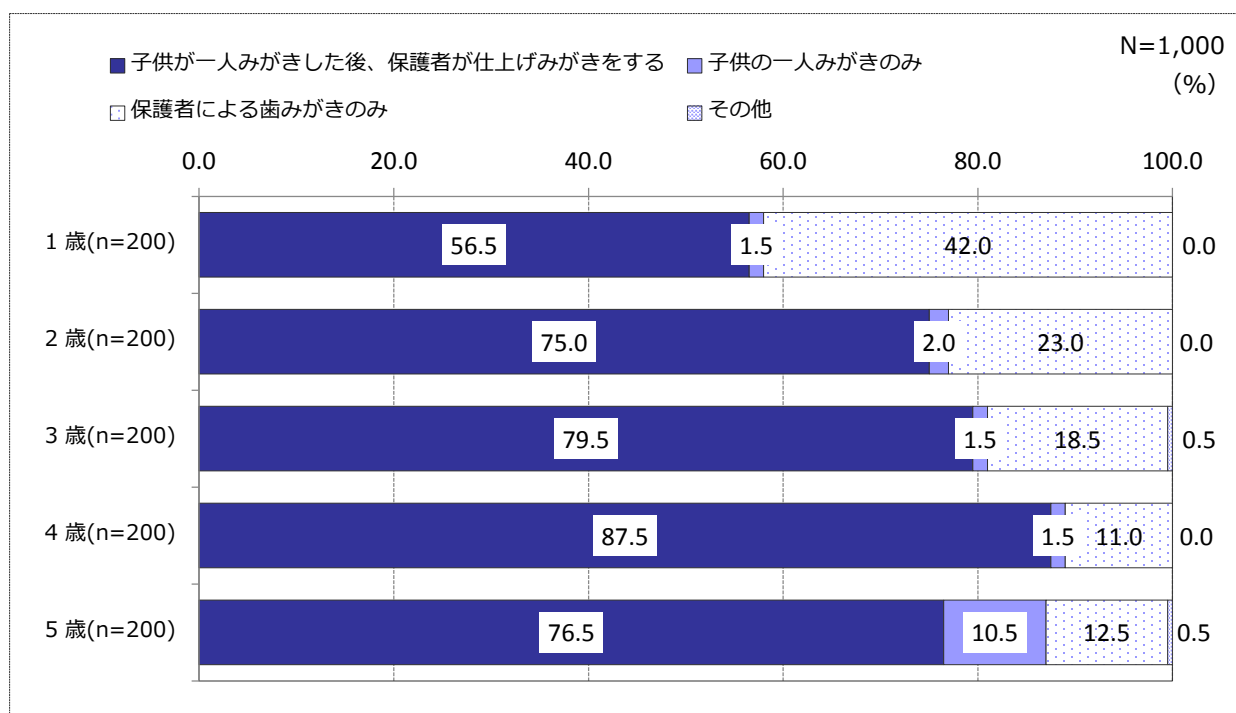


図2. 子供における歯みがきの方法（子供の年齢別）Q1

「子供が一人みがきした後、保護者が仕上げみがきをする」との回答者が使用している歯ブラシについて図3に示す。全体では「子供が一人みがきで使用している歯ブラシを使用する」との回答が77.9%となっている。

子供の年齢別に比較すると子供の年齢が低いほど保護者が別の歯ブラシを使用している割合が高く、1歳では3割である。子供の年齢が上がるにつれて子供が使う歯ブラシを併用している様子が窺える。

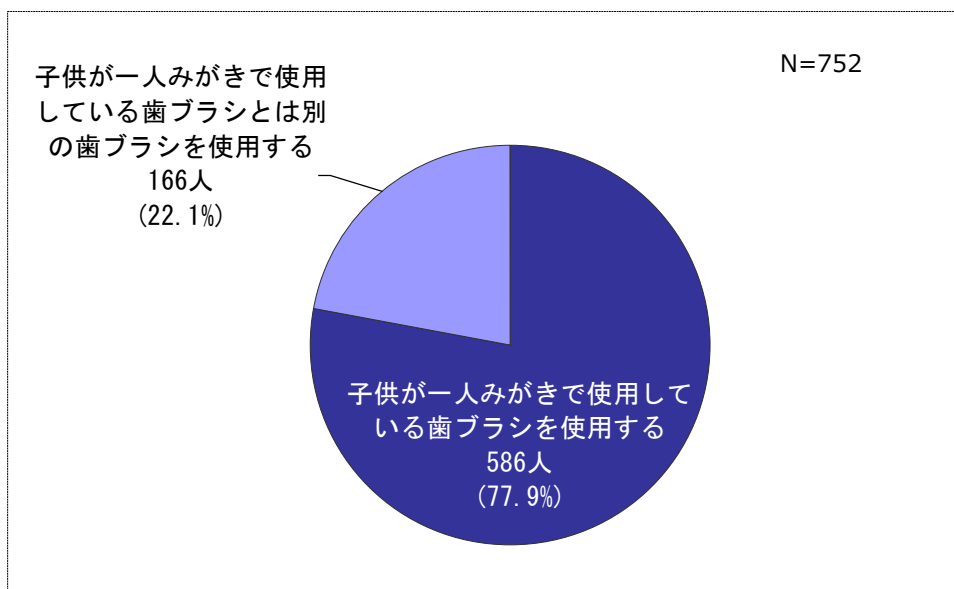


図3. 子供における歯みがきの状況（単数回答）Q3

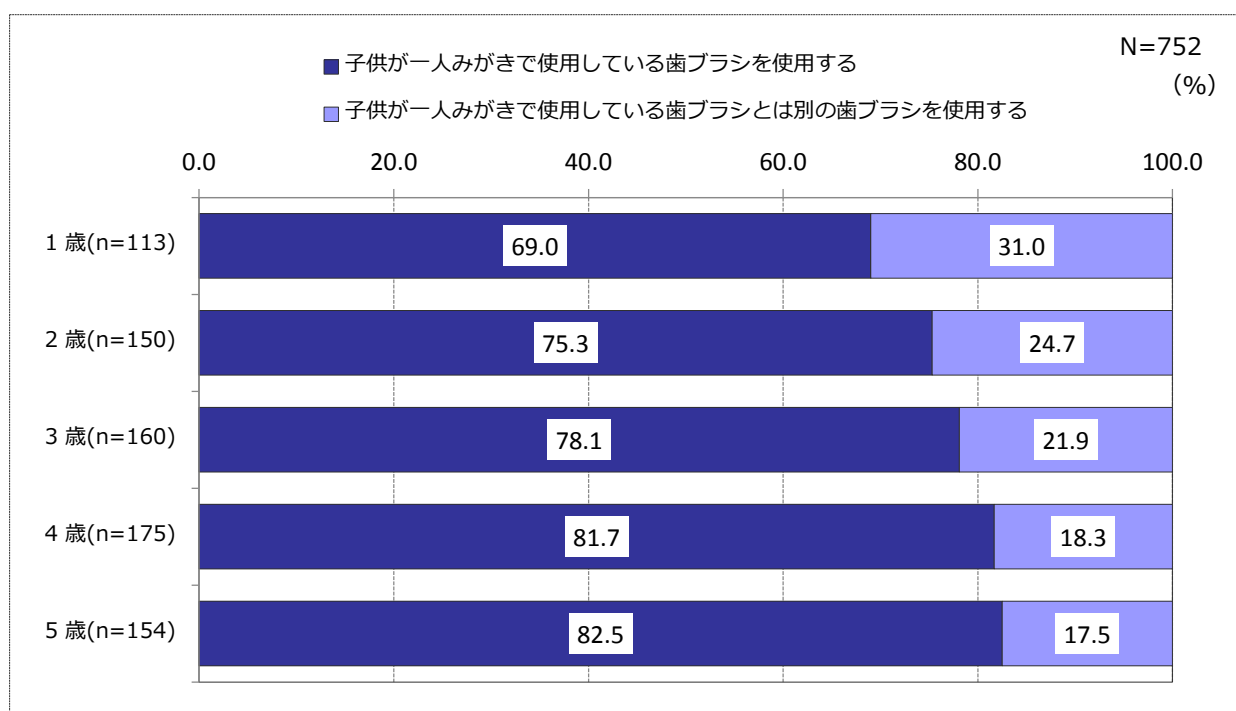


図4. 子供における歯みがきの状況（子供の年齢別）Q3

2 子供が使用する歯ブラシ

1) 歯ブラシの種類

子供が使用している歯ブラシの種類について図5に示す。全体では「通常タイプ」が87.0%と最も高く、次いで「コブ付タイプ」が6.9%、「安全具付きタイプ」が3.9%となっている。

子供の年齢別に比較すると、1歳では「コブ付タイプ」が11.2%、「安全具付きタイプ」が19.0%と通常タイプと異なるものを使用している割合が3割となっているが、2歳以降になると「通常タイプ」の使用者がほぼ9割に達し5歳まではほぼ同様の傾向となっている。

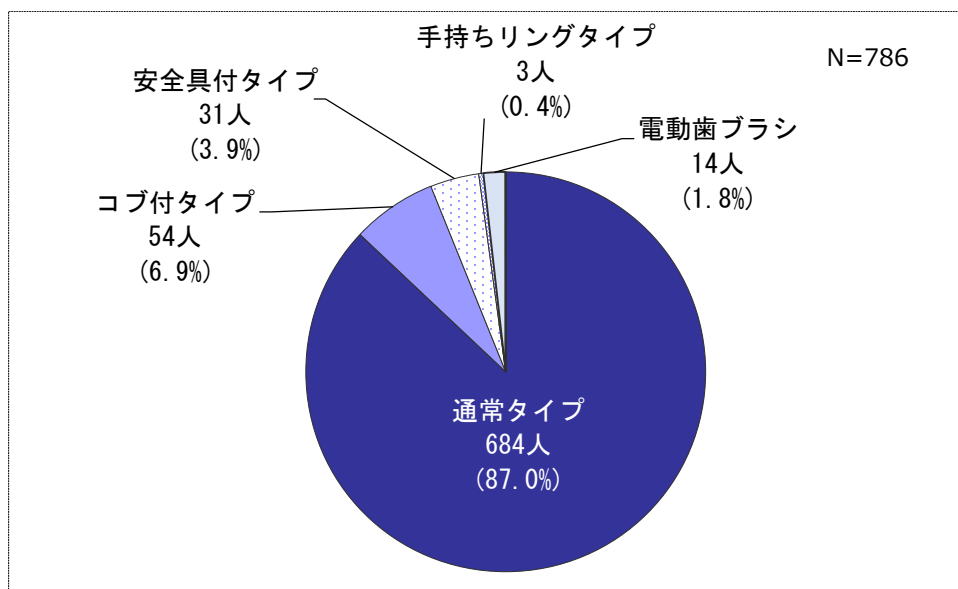


図5. 子供における歯ブラシの使用状況（単数回答）Q2

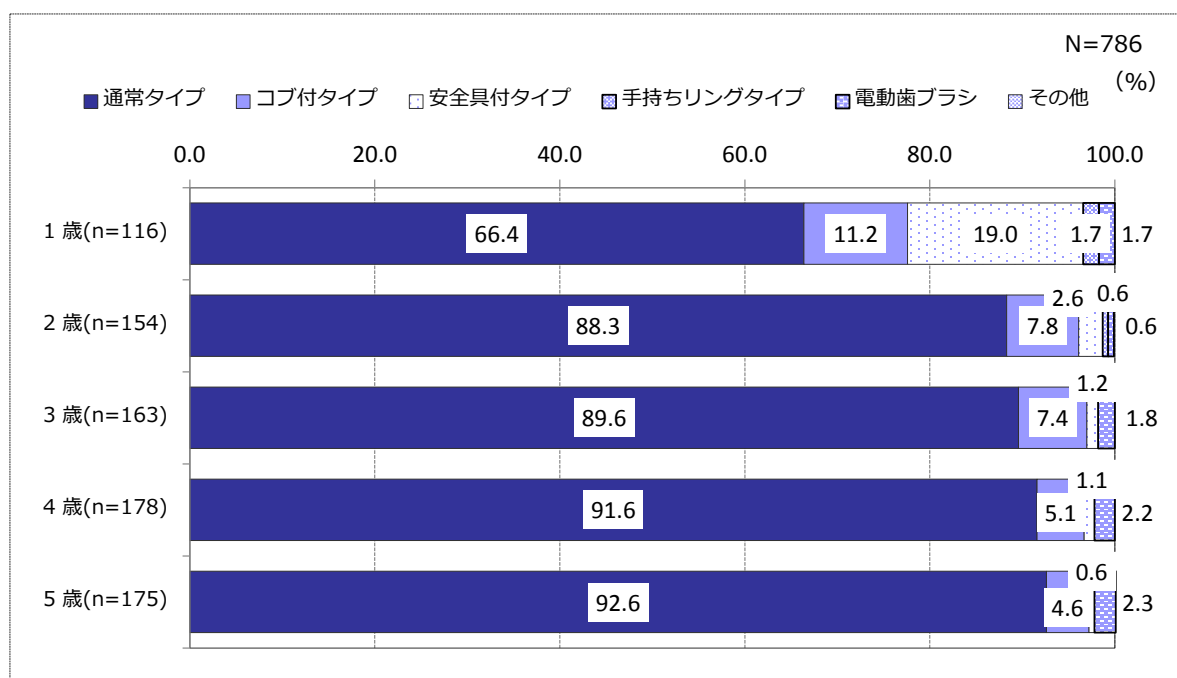


図6. 子供における歯ブラシの使用状況（子供の年齢別）Q2

2) 歯ブラシの選択理由

子供が使用する歯ブラシの選択理由について図7に示す。全体では「ヘッドの大きさ」が44.5%と最も高く、次いで「価格」が33.8%、「キャラクター」が31.0%となっている。

子供の年齢別に比較すると1歳では他の年齢と比較して選択理由に「安全性」を選ぶ割合が29.3%と高く、「ヘッドの大きさ」は4、5歳になるほど考慮される割合が高くなっている。

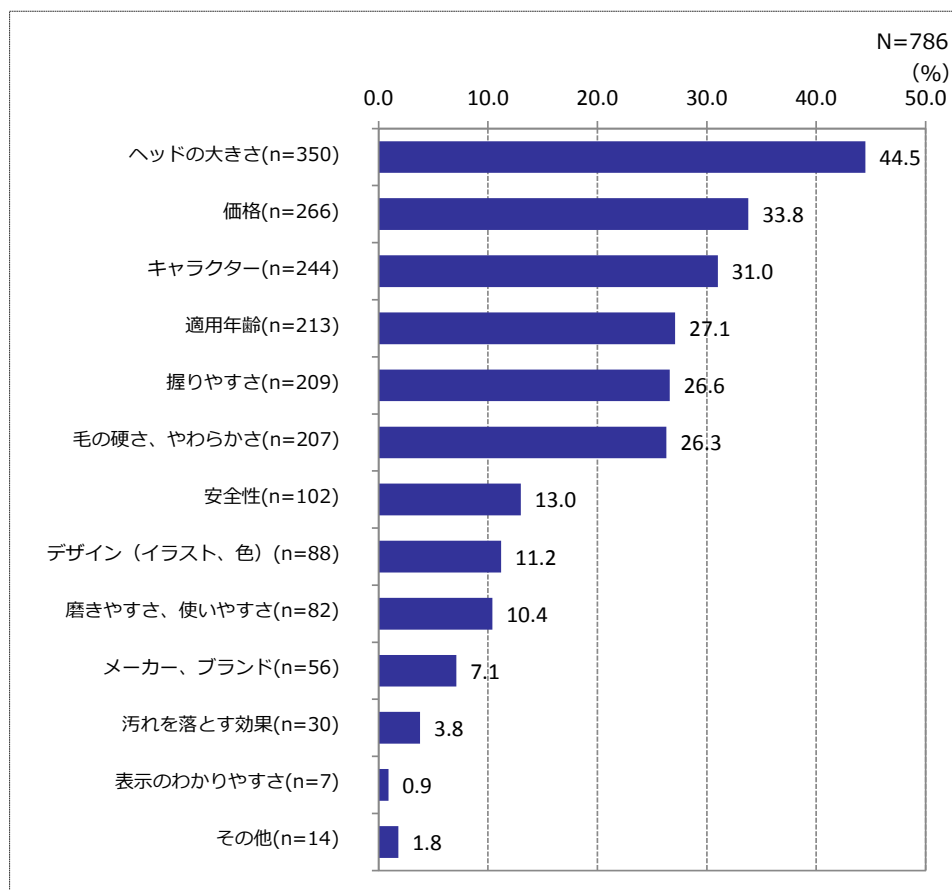


図 7. 子供が使用する歯ブラシの選択理由（複数回答）Q5-1

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
ヘッドの大きさ(n=350)	39.7	40.3	41.1	50.6	48.6
価格(n=266)	29.3	33.1	37.4	36.5	31.4
キャラクター(n=244)	16.4	35.1	35.6	28.7	35.4
適用年齢(n=213)	26.7	29.2	28.8	23.6	27.4
握りやすさ(n=209)	31.9	33.8	25.8	24.7	19.4
毛の硬さ、やわらかさ(n=207)	31.0	28.6	25.2	23.0	25.7
安全性(n=102)	29.3	10.4	13.5	8.4	8.6
デザイン(イラスト、色)(n=88)	8.6	12.3	10.4	10.7	13.1
磨きやすさ、使いやすさ(n=82)	6.0	10.4	13.5	8.4	12.6
メーカー、ブランド(n=56)	6.9	5.2	12.9	7.3	3.4
汚れを落とす効果(n=30)	2.6	2.6	3.7	3.4	6.3
表示のわかりやすさ(n=7)	1.7	0.6	0.6	1.1	0.6
その他(n=14)	0.9	3.2	0.6	3.4	0.6

図 8. 子供が使用する歯ブラシの選択理由（子供の年齢別）Q5-1

3) 歯ブラシの購入チャネル

子供が使用する歯ブラシの購入チャネルについて図 9 に示す。全体では「薬局・ドラッグストア」が 74.5%と最も高く、次いで「スーパー」が 29.0%となっている。「インターネット通販」で購入する割合は 7.5%と 1 割を切り、多くの購入者が実店舗で実物を手に取って購入している様子が窺える。

子供の年齢別に比較すると 1 歳では他の年齢と比較して「ベビー用品専門店」で購入する割合が高く 27.5%となっている。5 歳では「ベビー用品専門店」で購入する割合は 3.5%と低く、「薬局・ドラッグストア」や「スーパー」で購入する割合が高い。

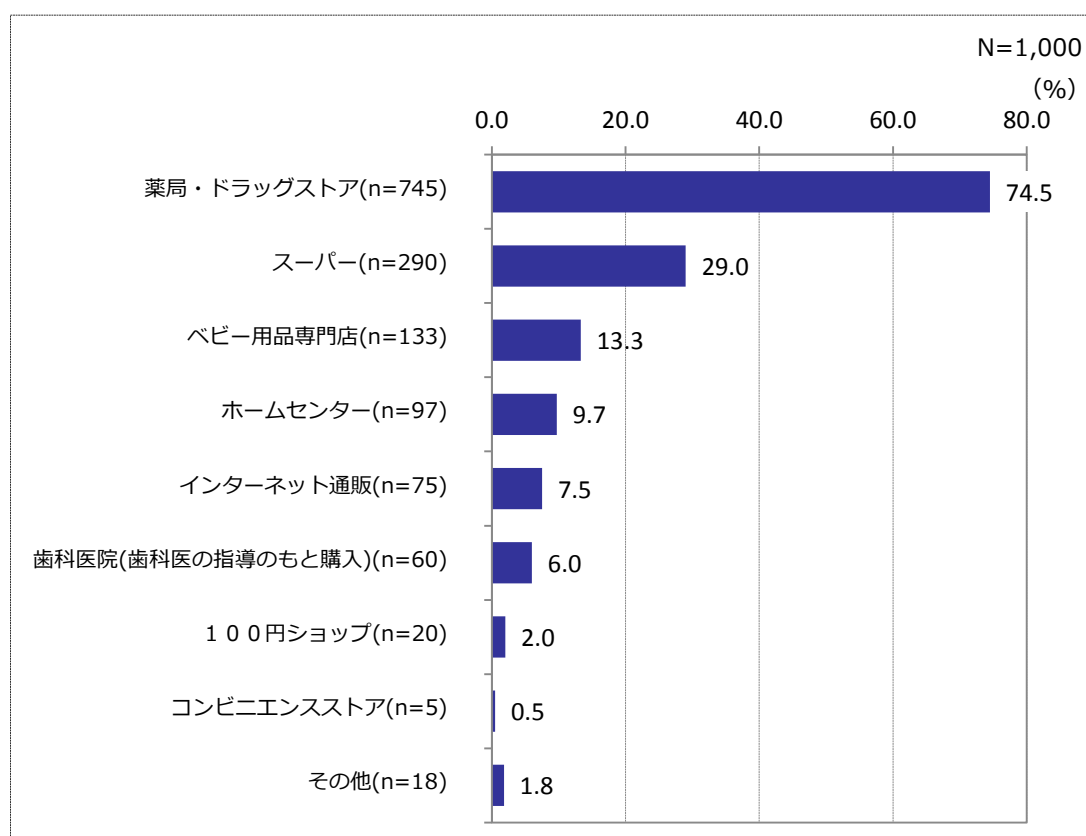


図 9. 子供が使用する歯ブラシの購入場所（複数回答）Q6

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
薬局・ドラッグストア(n=745)	68.0	76.0	76.5	73.5	78.5
スーパー(n=290)	21.0	28.0	27.0	33.5	35.5
ベビー用品専門店(n=133)	27.5	15.5	12.5	7.5	3.5
ホームセンター(n=97)	6.0	13.0	10.5	10.5	8.5
インターネット通販(n=75)	7.0	8.0	7.5	7.0	8.0
歯科医院(n=60)	6.5	3.0	6.0	8.0	6.5
100円ショップ(n=20)	0.0	1.0	4.0	2.0	3.0
コンビニエンスストア(n=5)	1.0	0.0	1.0	0.0	0.5
その他(n=18)	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5

図 10. 子供が使用する歯ブラシの購入場所（子供の年齢別）Q6

3 保護者が使用する歯ブラシ

1) 歯ブラシの種類

次に保護者による歯みがきのみ行っている場合、または仕上げみがきの際に子供の使う歯ブラシとは別の歯ブラシを使用している場合における、保護者が使う歯ブラシの選択理由について図11に示す。全体では「通常タイプ」が60.0%と最も多く、次いで「仕上げ用」が24.7%となっている。「コブ付タイプ」、「安全具付タイプ」、「手持ちリングタイプ」等の喉突き防止タイプの歯ブラシを使用しているケースは11.1%と1割程度となっている。

子供の年齢別に比較すると喉突き防止タイプの歯ブラシの利用率は1歳の保護者において17.6%と最も多く、2歳の保護者において13.2%となっている。一方、4歳、5歳の保護者においては喉突き防止タイプの歯ブラシの利用率はいずれも3.8%と低くなっている。

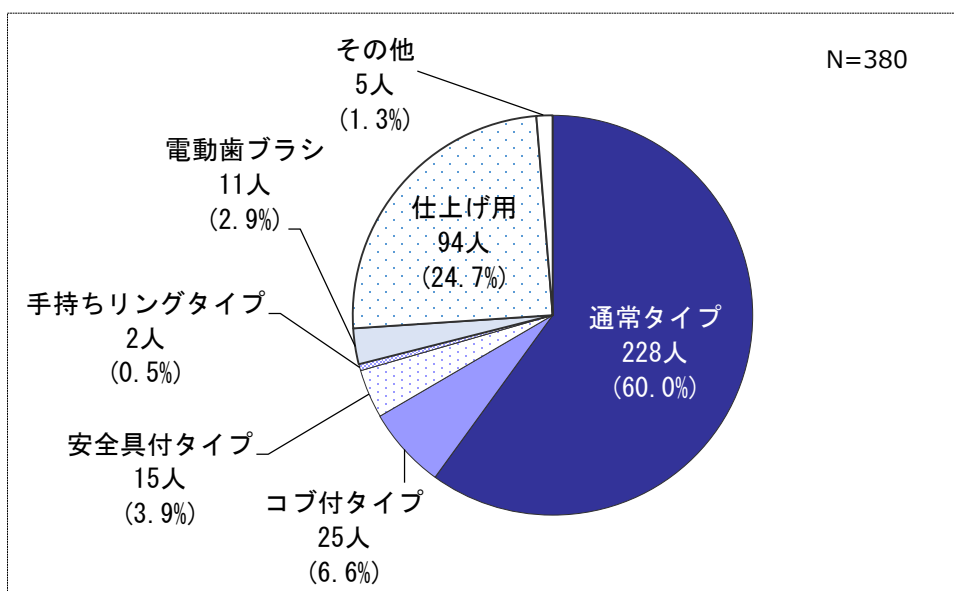


図 11. 保護者における歯ブラシの使用状況（単数回答）Q4

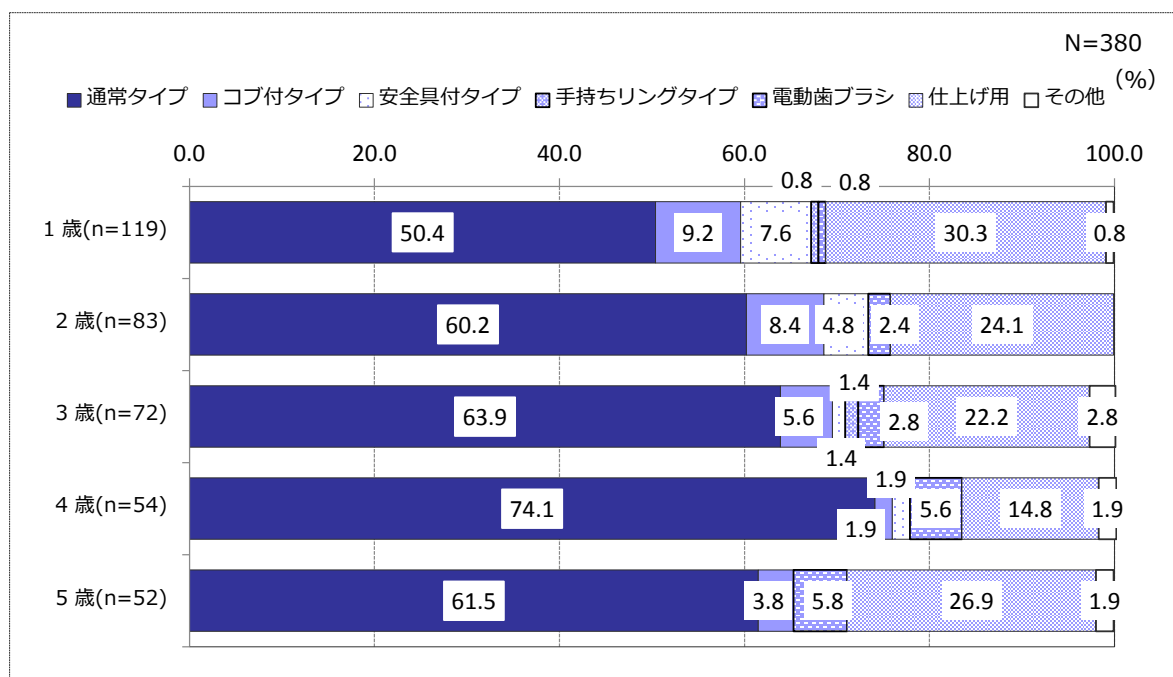


図 12. 保護者における歯ブラシの使用状況（子供の年齢別）Q4

2) 歯ブラシの選択理由

保護者が使用する歯ブラシの選択理由について図 13 に示す。全体では「ヘッドの大きさ」が 45.5%と最も高く、次いで「毛の硬さ、やわらかさ」が 32.6%、「価格」が 28.2%となっている。

子供の年齢別に比較すると 1 歳では他の年齢と比較して選択理由に「適用年齢」(31.1%)や「安全性」(20.2%)を選ぶ割合が相対的に高くなっており、5 歳では「磨きやすさ、使いやすさ」(28.8%)や「汚れを落とす効果」(17.3%)の回答割合が相対的に高くなっている。子供の年齢に応じて、保護者が歯ブラシを選ぶ理由が安全面から歯磨きの効果の高いものへと意識が変化していることが窺える。

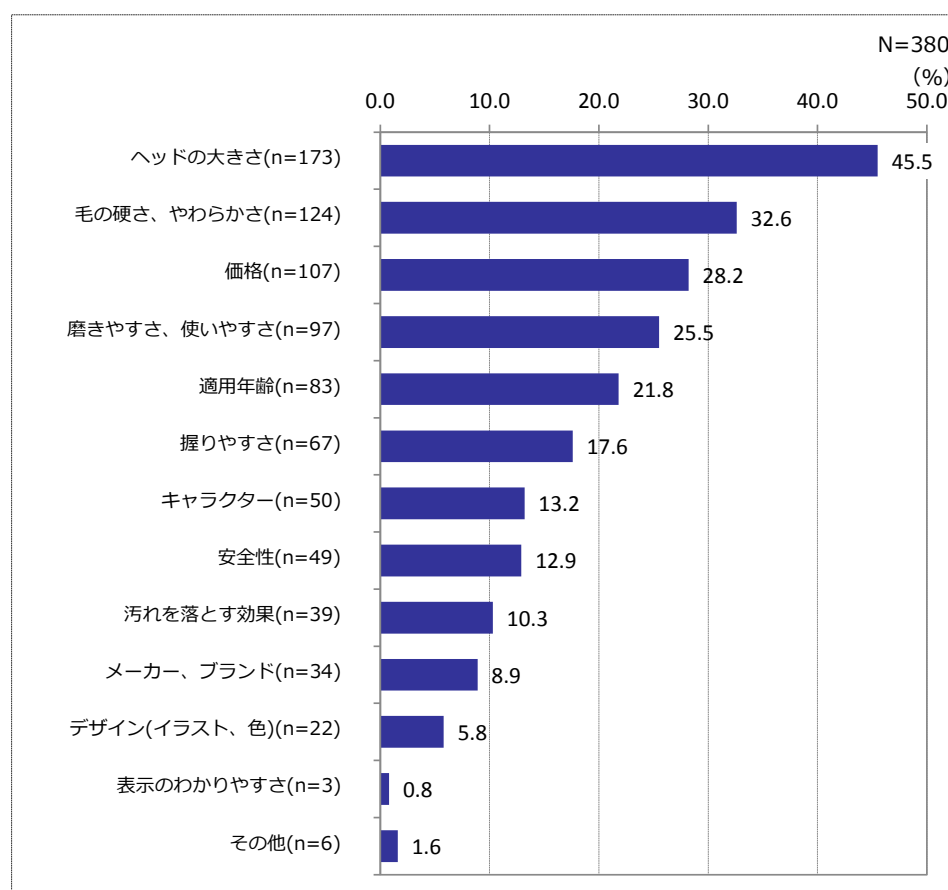


図 13. 保護者が使用する歯ブラシの選択理由（複数回答）Q5-2

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
ヘッドの大きさ(n=173)	42.0	48.2	38.9	53.7	50.0
毛の硬さ、やわらかさ(n=124)	28.6	31.3	37.5	42.6	26.9
価格(n=107)	28.6	26.5	37.5	25.9	19.2
磨きやすさ、使いやすさ(n=97)	26.9	22.9	26.4	22.2	28.8
適用年齢(n=83)	31.1	24.1	16.7	11.1	15.4
握りやすさ(n=67)	18.5	18.1	15.3	14.8	21.2
キャラクター(n=50)	9.2	19.3	11.1	11.1	17.3
安全性(n=49)	20.2	7.2	13.9	7.4	9.6
汚れを落とす効果(n=39)	6.7	9.6	12.5	9.3	17.3
メーカー、ブランド(n=34)	12.6	6.0	9.7	7.4	5.8
デザイン(イラスト、色)(n=22)	4.2	6.0	5.6	11.1	3.8
表示のわかりやすさ(n=3)	0.8	0.0	1.4	0.0	1.9
その他(n=6)	2.5	1.2	0.0	1.9	1.9

図 14. 保護者が使用する歯ブラシの選択理由（子供の年齢別）Q5-2

4 子供の歯みがき実態

1) 歯みがき開始年齢

子供の一人みがきの開始年齢と保護者による歯みがきの開始年齢を表1に示す。子供の一人磨きの開始年齢はばらつきが見られるが、最も多い年齢は「2歳0～5ヵ月」で20.0%、次いで「1歳0～5ヵ月」が19.5%となっている。全体の半数は2歳0～5ヵ月までに歯みがきを開始している。

保護者による歯みがきの開始年齢は、子供の一人みがきと比較すると早い時期から開始しており、「1歳0～5ヵ月」が38.3%と最も多く、次いで「1歳未満」が32.1%、「1歳6～11ヵ月」が12.1%となっており、2歳になる前に82.5%が保護者による歯みがきを始めている。

表1. 歯みがきの開始年齢 Q8

子供の一人みがき

	0歳 0～5ヵ月	0歳 6～11ヵ月	1歳 0～5ヵ月	1歳 6～11ヵ月	2歳 0～5ヵ月	2歳 6～11ヵ月	3歳 0～5ヵ月	3歳 6～11ヵ月	4歳	5歳	合計
1歳	2 1.7%	32 27.6%	64 55.2%	18 15.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	116 100.0%
2歳	2 1.3%	13 8.4%	38 24.7%	46 29.9%	51 33.1%	4 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	154 100.0%
3歳	2 1.2%	12 7.4%	23 14.1%	17 10.4%	49 30.1%	27 16.6%	29 17.8%	4 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	163 100.0%
4歳	0 0.0%	8 4.5%	17 9.6%	15 8.4%	29 16.3%	14 7.9%	53 29.8%	13 7.3%	29 16.3%	0 0.0%	178 100.0%
5歳	0 0.0%	3 1.7%	11 6.3%	10 5.7%	28 16.0%	9 5.1%	45 25.7%	9 5.1%	38 21.7%	22 12.6%	175 100.0%
合計	6 0.8%	68 8.7%	153 19.5%	106 13.5%	157 20.0%	54 6.9%	127 16.2%	26 3.3%	67 8.5%	22 2.8%	786 100.0%

保護者による歯みがき

	0歳 0～5ヵ月	0歳 6～11ヵ月	1歳 0～5ヵ月	1歳 6～11ヵ月	2歳 0～5ヵ月	2歳 6～11ヵ月	3歳 0～5ヵ月	3歳 6～11ヵ月	4歳	5歳	合計
1歳	5 2.5%	92 46.7%	89 45.2%	11 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	197 100.0%
2歳	5 2.6%	63 32.1%	71 36.2%	40 20.4%	17 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	196 100.0%
3歳	6 3.0%	51 25.9%	78 39.6%	20 10.2%	28 14.2%	9 4.6%	5 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	197 100.0%
4歳	4 2.0%	46 23.4%	72 36.5%	24 12.2%	30 15.2%	3 1.5%	15 7.6%	3 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	197 100.0%
5歳	1 0.6%	37 20.7%	60 33.5%	22 12.3%	32 17.9%	8 4.5%	13 7.3%	2 1.1%	4 2.2%	0 0.0%	179 100.0%
合計	21 2.2%	289 29.9%	370 38.3%	117 12.1%	107 11.1%	20 2.1%	33 3.4%	5 0.5%	4 0.4%	0 0.0%	966 100.0%

2) 歯みがきの頻度

子供の一人みがきの頻度を図 15、図 16 に示す。「一日 2 回」との回答が最も多く、43.5%となっている。次いで「一日 1 回」が 38.7%、「一日 3 回以上」が 16.0%と続く。

子供の年齢別に見ると 1 歳での子供の一人みがきは「一日 1 回」が 56.9%と半数以上を占める。年齢が上がる毎に“一日 2 回以上”（「一日 2 回」＋「一日 3 回以上」）との回答が増え、3 歳では 61.4%、4 歳は 70.8%、5 歳では 68.6%といずれも 6 割を超えている。

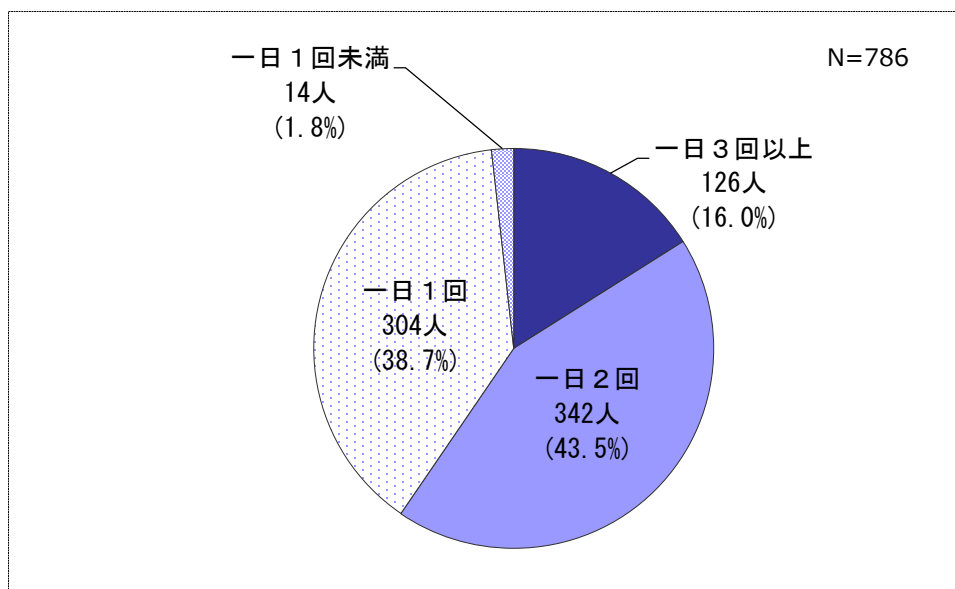


図 15. 子供の一人みがきの頻度（単数回答）Q7-1

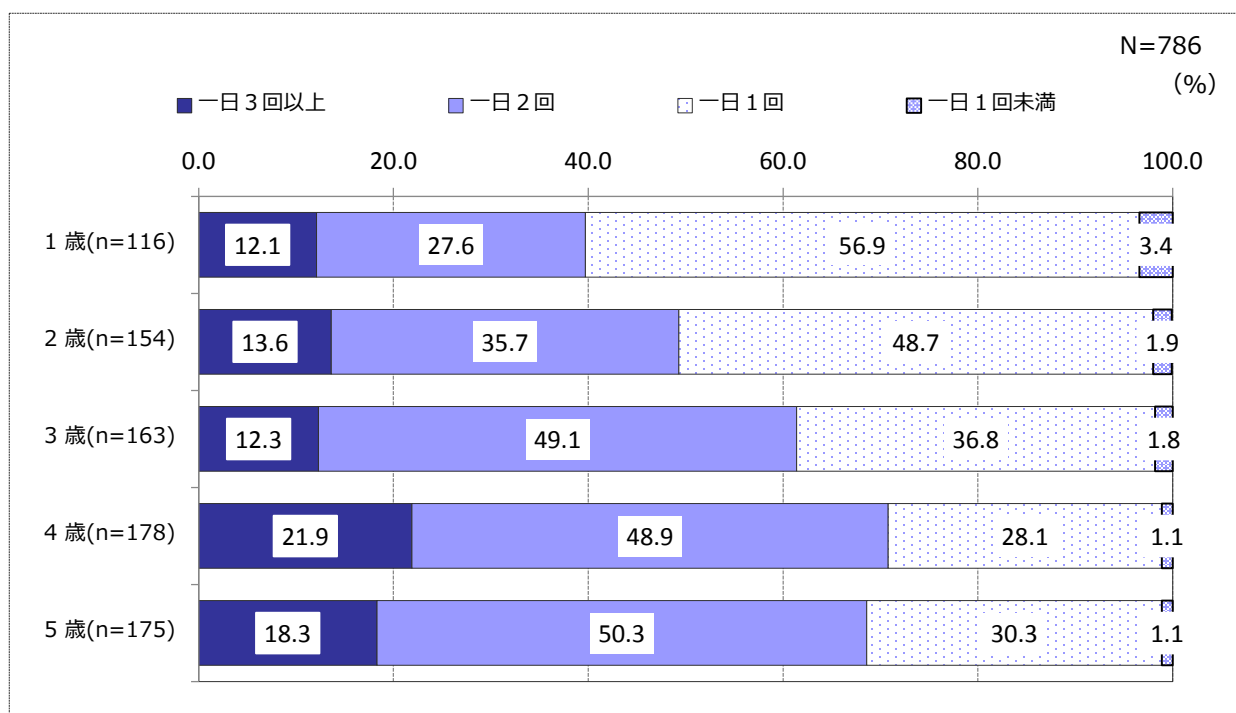


図 16. 子供の一人みがきの頻度（子供の年齢別）Q7-1

保護者による歯みがきの頻度を図 17、図 18 に示す。「一日 1 回」との回答が最も多く、52.8% となっている。次いで「一日 2 回」が 35.2% となっている。

子供の年齢別に見ると 1 歳での保護者による歯みがきは「一日 2 回以上」（「一日 2 回」＋「一日 3 回以上」）との回答が 32.5% となっており、3 歳では 53.8% と半数を超えるが、3 歳をピークに減少し、5 歳では「一日 1 回」との回答が 50.3% と半数を超える。

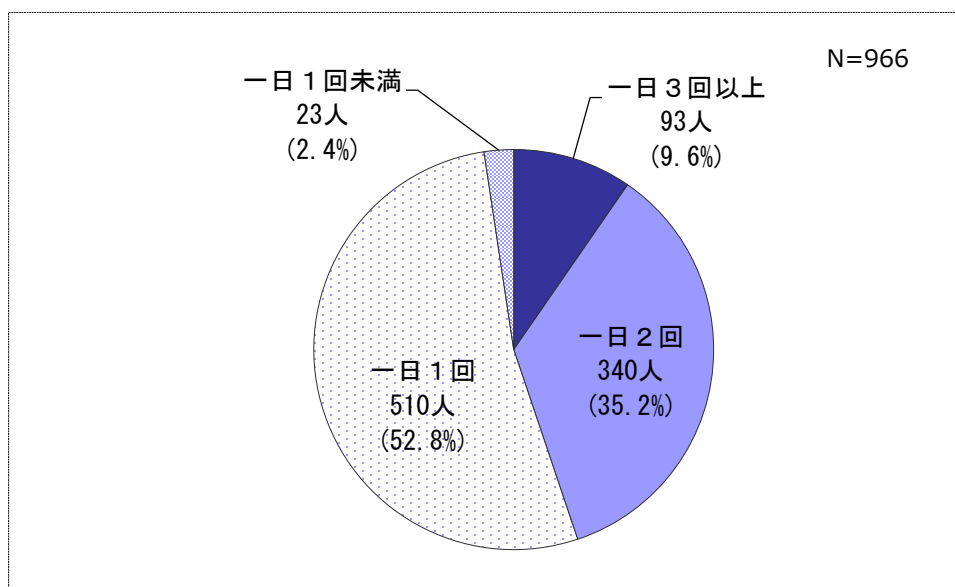


図 17. 保護者による子供の歯みがきの頻度（単数回答）Q7-2

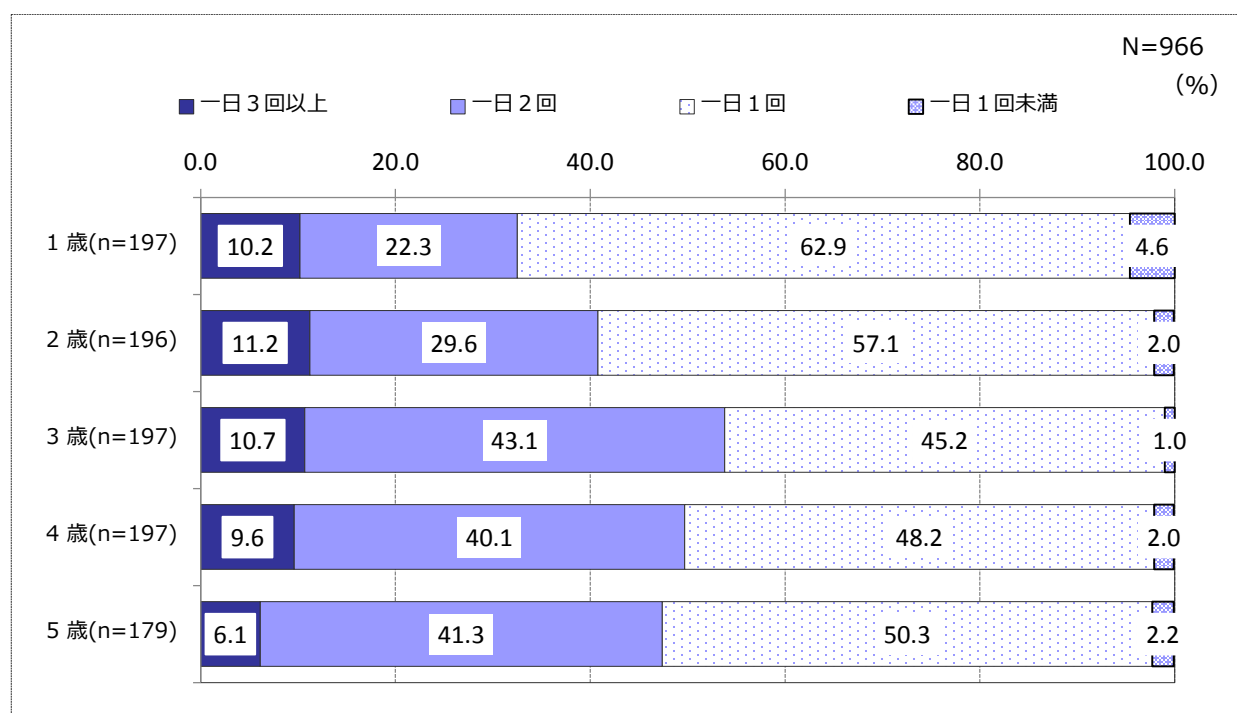


図 18. 保護者による子供の歯みがきの頻度（子供の年齢別）Q7-2

3) 歯みがきをする場所

子供の一人みがきをする場所を図 19、図 20 に示す。「居間」との回答が最も多く、58.5%となっている。次いで「洗面所」が 48.1%となっている。「居間」または「洗面所」のいずれかで一人みがきをしていると回答した割合は 92.7%を 9 割を超えている。

子供の年齢別に見ると 1 歳では 76.7%が「居間」で一人みがきをしていると回答している。子供の年齢が上がるにつれて徐々に「居間」で一人みがきをする割合は減少し、4 歳、5 歳では「洗面所」で一人みがきを行う方が「居間」で行う割合を上回る。

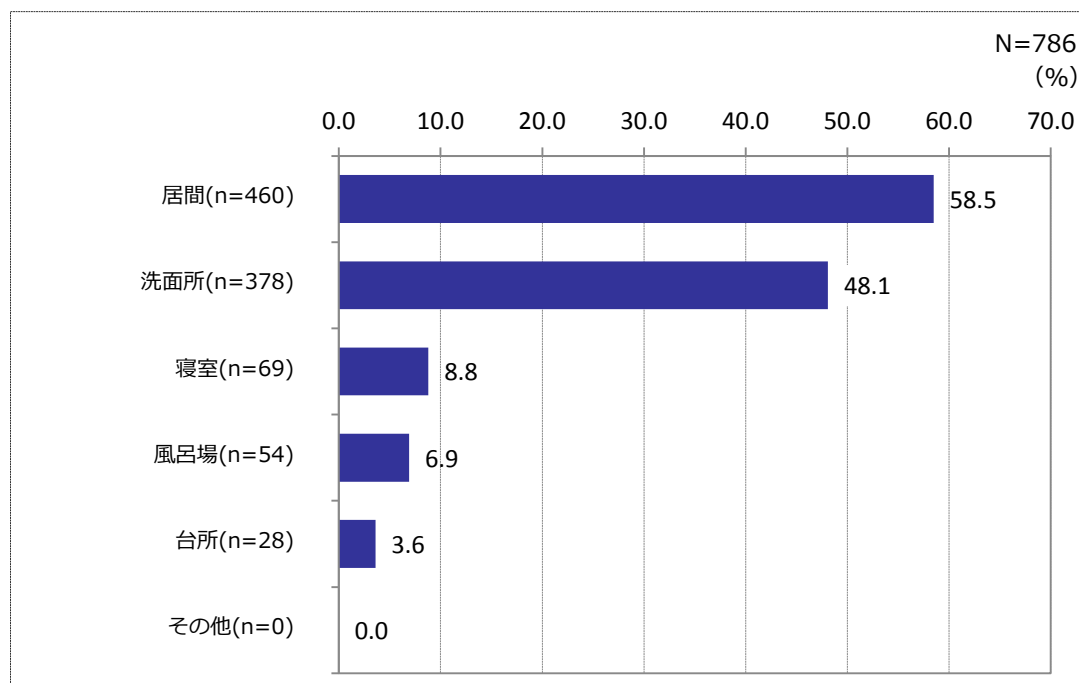


図 19. 子供が一人みがきをする場所（複数回答）Q9

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
居間(n=460)	76.7	61.7	61.3	51.1	48.6
洗面所(n=378)	24.1	42.9	43.6	59.6	61.1
寝室(n=69)	12.9	10.4	8.0	10.1	4.0
風呂場(n=54)	6.0	7.1	8.6	6.2	6.3
台所(n=28)	2.6	2.6	3.7	3.9	4.6
その他(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図 20. 子供が一人みがきをする場所（子供の年齢別）Q9

保護者が子供の歯みがき、または仕上げみがきをする場所を図 21、図 22 に示す。「居間」との回答が最も多く、67.0%となっている。次いで「洗面所」が34.9%となっている。「居間」または「洗面所」のいずれかで保護者が子供の歯みがきをしていると回答した割合は90.5%となり、子供の一人みがきと同様に9割を超えている。

子供の年齢別に見るとどの年齢においても「居間」との回答が最も多く、6割を超えている。子供の年齢が上がるにつれて「洗面所」で保護者による歯みがきがされる割合が高くなり、4歳、5歳においては4割に達している。

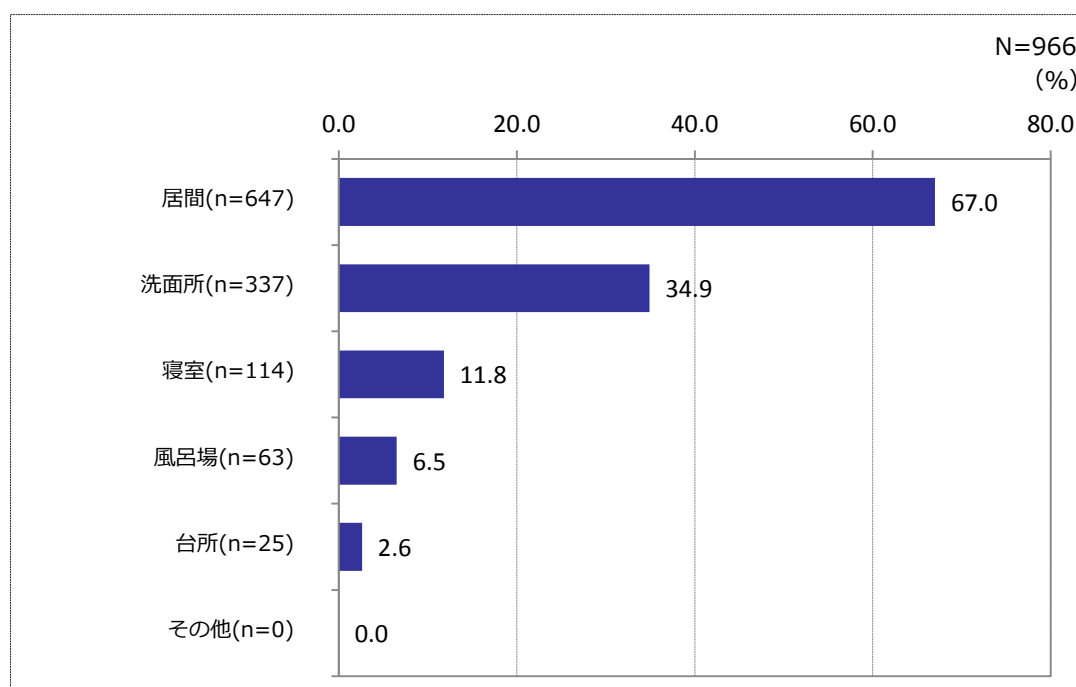


図 21. 保護者による子供の歯みがきをする場所（複数回答）Q9

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
居間(n=647)	76.1	68.4	66.0	60.9	63.1
洗面所(n=337)	19.3	33.7	36.5	43.1	42.5
寝室(n=114)	14.7	12.8	10.7	13.2	7.3
風呂場(n=63)	5.6	8.2	7.6	7.1	3.9
台所(n=25)	1.5	1.0	3.0	3.6	3.9
その他(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図 22. 保護者による子供の歯みがきをする場所（子供の年齢別）Q9

4) 歯みがきをする姿勢

子供が一人みがきをするときの姿勢を図 23-図 25 に示す。「床に立って」との回答が 44.3%と最も多く、次いで「床に座って」が 33.5%となっている。

子供の年齢別に比較すると 1 歳、2 歳では「床に立って」と「床に座って」一人みがきをしている割合がほぼ同じとなっているが、3 歳より年齢が上がるにつれて「床に立って」一人みがきをする割合が高くなっている。また、一人みがきをするときの場所別に比較すると、「洗面所」や「風呂場」では「床に立って」歯みがきをしている割合が高く、「居間」では「床に座って」、「寝室」では「床やベッド等に寝転んで」歯みがきをしている割合がそれぞれ高くなっている。

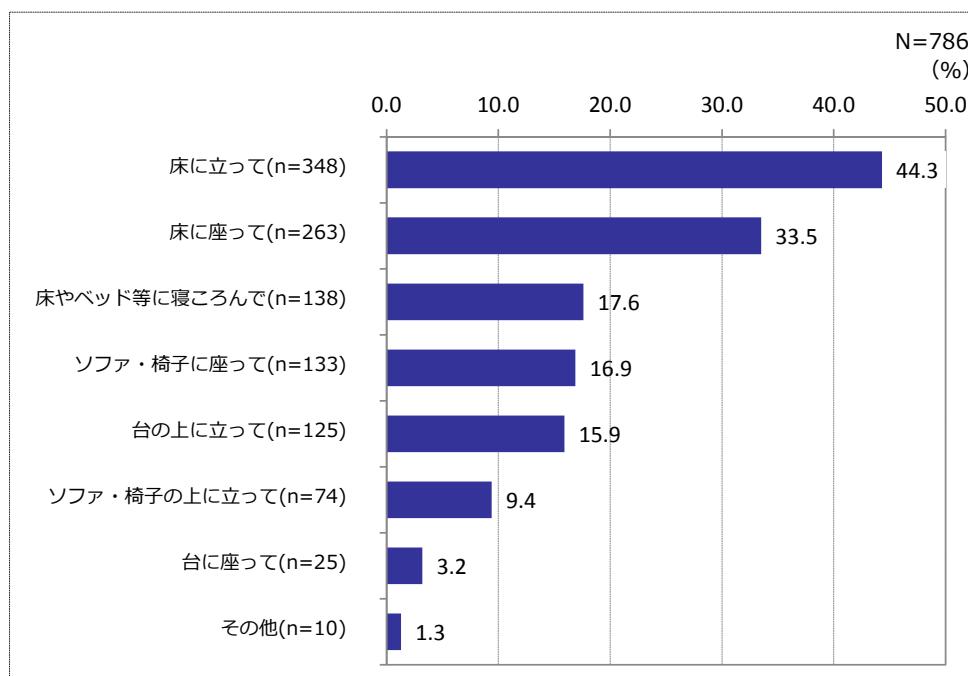


図 23. 子供が一人みがきをするときの姿勢（複数回答）Q10

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
床に立って(n=348)	40.5	42.2	38.0	51.7	46.9
床に座って(n=263)	42.2	41.6	32.5	27.0	28.0
床やベッド等に寝ころんで(n=138)	17.2	15.6	20.9	19.1	14.9
ソファ・椅子に座って(n=133)	19.0	16.9	20.2	18.0	11.4
台の上に立って(n=125)	5.2	14.9	14.1	21.9	19.4
ソファ・椅子の上に立って(n=74)	3.4	9.7	12.9	10.7	8.6
台に座って(n=25)	0.9	3.2	3.7	5.1	2.3
その他(n=10)	1.7	1.9	0.6	1.1	1.1

図 24. 子供が一人みがきをするときの姿勢（子供の年齢別）Q10

	洗面所	風呂場	居間	寝室	台所	その他
床に立って(n=348)	61.4	68.5	36.5	37.7	42.9	0.0
床に座って(n=263)	21.2	33.3	47.4	33.3	17.9	0.0
床やベッド等に寝ころんで(n=138)	10.6	14.8	22.8	55.1	14.3	0.0
ソファ・椅子に座って(n=133)	13.0	20.4	25.2	15.9	28.6	0.0
台の上に立って(n=125)	30.4	22.2	6.1	4.3	35.7	0.0
ソファ・椅子の上に立って(n=74)	8.2	14.8	13.3	13.0	14.3	0.0
台に座って(n=25)	4.8	13.0	1.7	5.8	3.6	0.0
その他(n=10)	0.5	9.3	1.1	1.4	3.6	0.0

図 25. 子供が一人みがきをするときの姿勢（場所別）Q10XQ9

保護者による歯みがきをするときの姿勢を図 26-図 28 に示す。「保護者の膝の上に乗せて、頭が動かないようにして」との回答が 44.3%と最も多く、次いで「子供を床やベッド等に寝転ばせて」が 38.0%となっている。

子供の年齢別に比較すると 1 歳、2 歳では「保護者の膝の上に乗せて、頭が動かないようにして」歯みがきを行っている割合が 5 割を超える。また、一人みがきをするときの場所別に比較すると、「風呂場」「居間」や「寝室」では「保護者の膝の上に乗せて、頭が動かないようにして」が最も多く、「洗面所」では「子供を床に立たせて」が最も多くなっている。

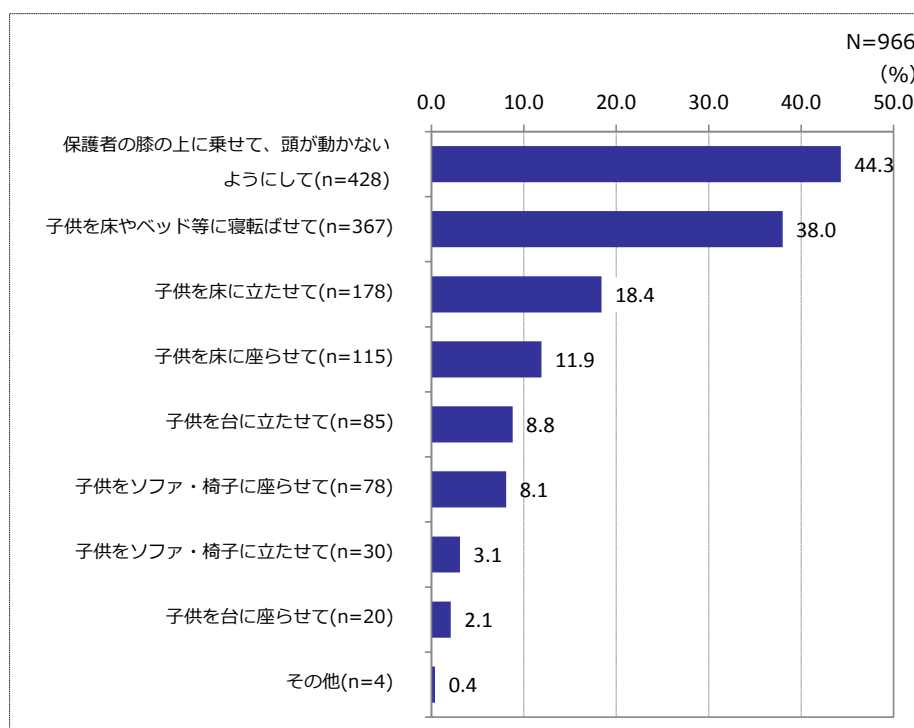


図 26. 保護者による子供の歯みがきをするときの姿勢（複数回答）Q12

	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
保護者の膝の上に乗せて頭が動かないようにして(n=428)	50.3	54.1	44.2	34.0	38.5
子供を床やベッド等に寝転ばせて(n=367)	37.6	37.2	33.5	45.2	36.3
子供を床に立たせて(n=178)	13.7	16.8	16.8	20.8	24.6
子供を床に座らせて(n=115)	10.7	14.8	12.7	13.2	7.8
子供を台に立たせて(n=85)	3.6	10.2	5.6	12.7	12.3
子供をソファ・椅子に座らせて(n=78)	8.6	9.7	8.6	7.6	5.6
子供をソファ・椅子に立たせて(n=30)	1.5	4.1	4.1	4.1	1.7
子供を台に座らせて(n=20)	1.0	3.1	2.5	3.0	0.6
その他(n=4)	0.0	0.5	0.5	0.5	0.6

図 27. 保護者による子供の歯みがきをするときの姿勢（子供の年齢別）Q12

	洗面所	風呂場	居間	寝室	台所	その他
保護者の膝の上に乗せて頭が動かないようにして(n=428)	35.9	52.4	51.2	53.5	28.0	0.0
子供を床やベッド等に寝転ばせて(n=367)	26.7	23.8	45.0	56.1	20.0	0.0
子供を床に立たせて(n=178)	36.8	41.3	11.3	9.6	24.0	0.0
子供を床に座らせて(n=115)	10.4	12.7	14.7	7.9	16.0	0.0
子供を台に立たせて(n=85)	22.0	19.0	2.3	2.6	32.0	0.0
子供をソファ・椅子に座らせて(n=78)	10.4	11.1	9.3	10.5	20.0	0.0
子供をソファ・椅子に立たせて(n=30)	3.9	11.1	3.2	3.5	16.0	0.0
子供を台に座らせて(n=20)	4.2	6.3	1.7	2.6	4.0	0.0
その他(n=4)	0.3	4.8	0.2	0.0	4.0	0.0

図 28. 保護者による子供の歯みがきをするするときの姿勢（場所別）Q12XQ9

5) 歯みがきをする時間

子供の一人みがきに要する時間を図 29、図 30 に示す。回答はばらつきがあり「1 分以内」との回答が最も多く、31.7%となっている。次いで「3-4 分」が 27.4%、「2 分」が 19.7%と続く。

子供の年齢別に見ると 1 歳での子供の一人みがきは「3-4 分」が 34.5%と最も多い。年齢が上がるにつれ、「1 分以内」の割合が高くなり、2 歳から 5 歳までは「1 分以内」の割合が最も高くなっている。「5 分以上」（「5 分」＋「6 分以上」）時間を使っていると回答している割合は 1 歳と 2 歳では 25.0%を超えているが、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。

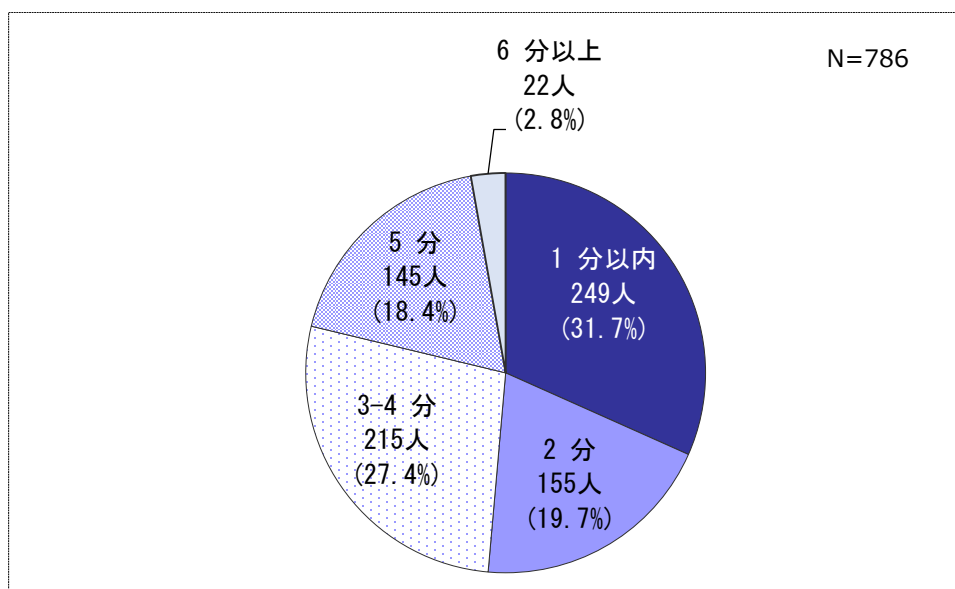


図 29. 子供の一人みがきに要する時間（複数回答） Q13

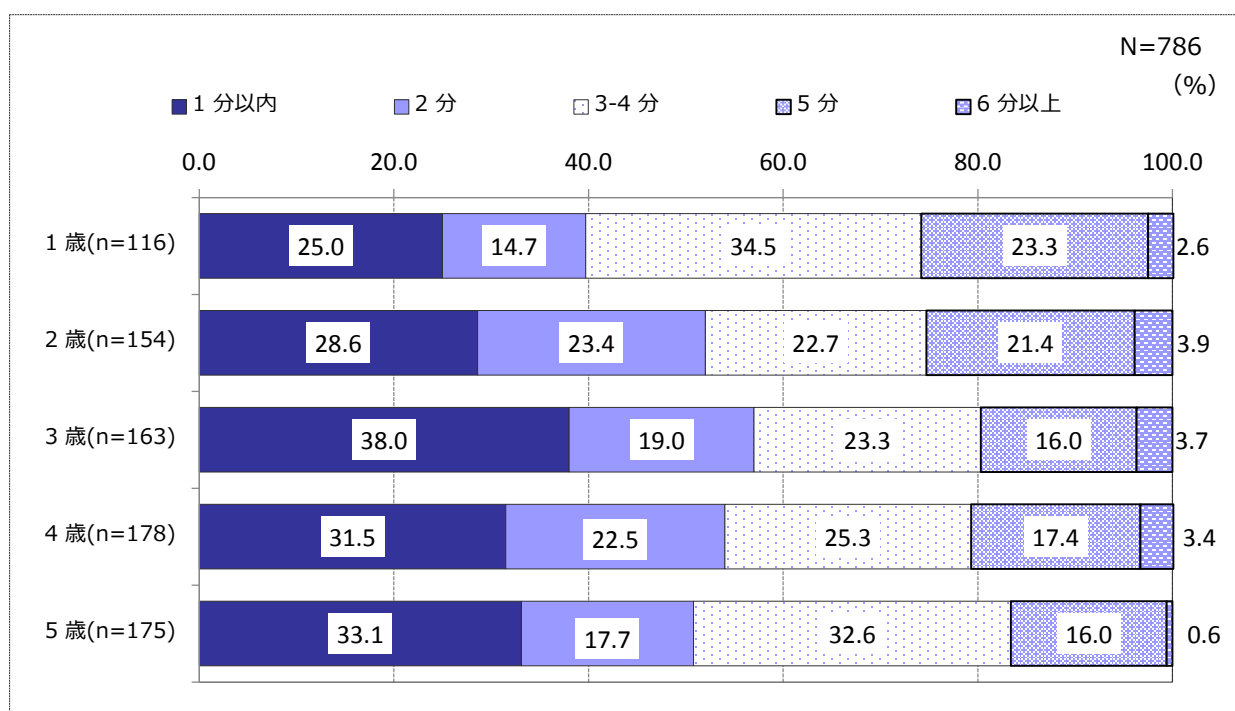


図 30. 子供の一人みがきに要する時間（子供の年齢別） Q13

保護者による歯みがきに要する時間を図 31、図 32 に示す。子供の一人みがきと同様に回答にばらつきがあるが、「1 分以内」との回答が最も多く 28.7%となっている。次いで「2 分」が 26.0%、「3-4 分」が 25.9%と続く。

子供の年齢別に見ると 1 歳の時の保護者による歯みがきの時間は「1 分以内」が 35.5%と最も多くなっている。年齢が上がるにつれ、「1 分以内」の割合は低くなり、5 歳では「3-4 分」との回答が 34.6%と最も高くなっている。

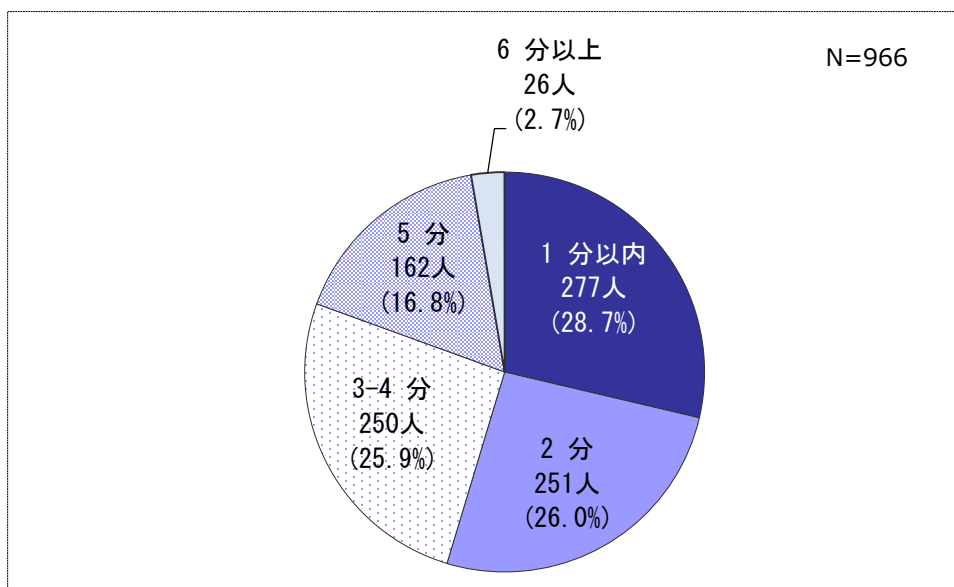


図 31. 保護者による子供の歯みがきに要する時間（複数回答） Q13

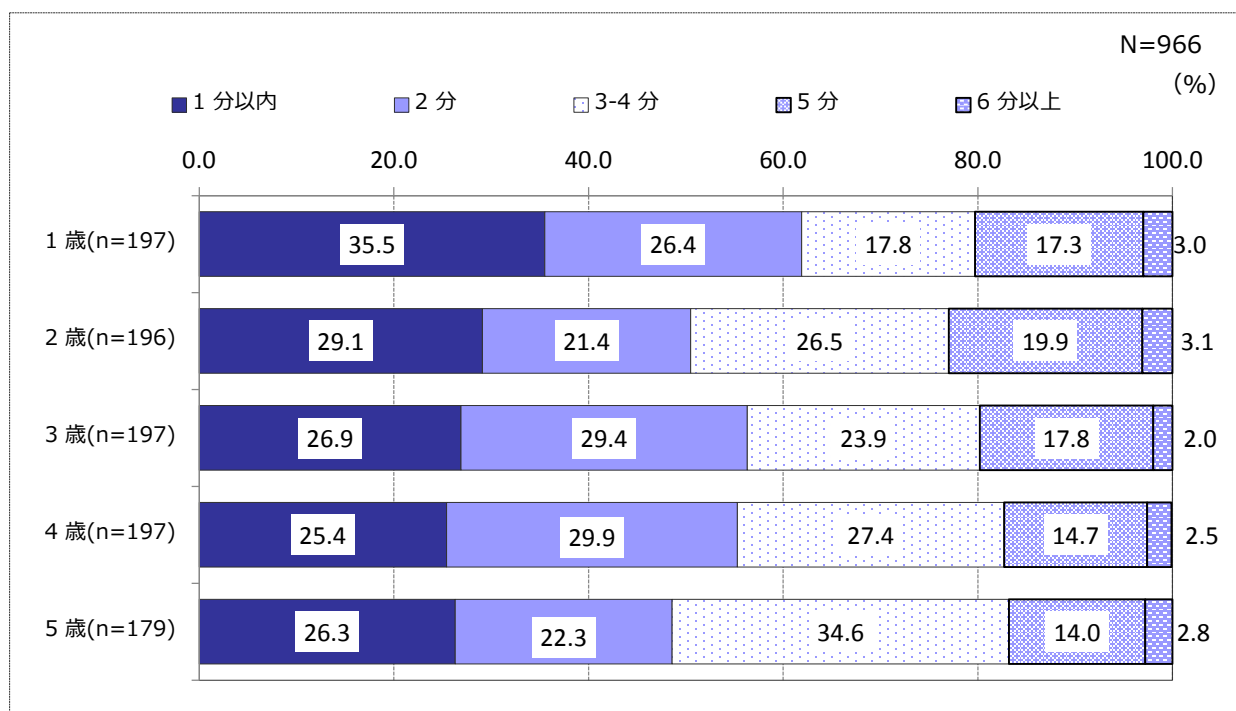


図 32. 保護者による子供の歯みがきに要する時間（子供の年齢別） Q13

6) 歯みがき時の実態

子供の一人みがき時の付添い状況を図 33、図 34 に示す。「必ず保護者が付き添っている」との回答が 51.7%と半数を超えている。次いで「たまに保護者が付き添っている」が 29.0%と続き、一人みがきの時に保護者が付き添っているケースは8割を超える。

子供の年齢別に比較すると“保護者が付き添っている”(「たまに保護者が付き添っている」+「必ず保護者が付き添っている」)割合は1歳では93.9%となっているが、5歳では65.7%と年齢が高くなる毎に低くなっている。

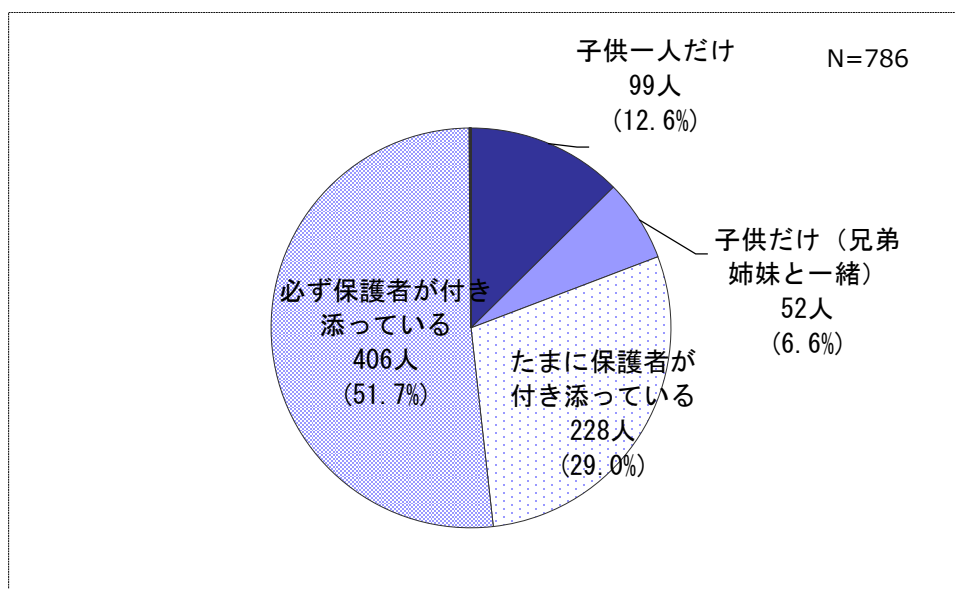


図 33. 子供の一人みがき時の付添い実態 (単数回答) Q11

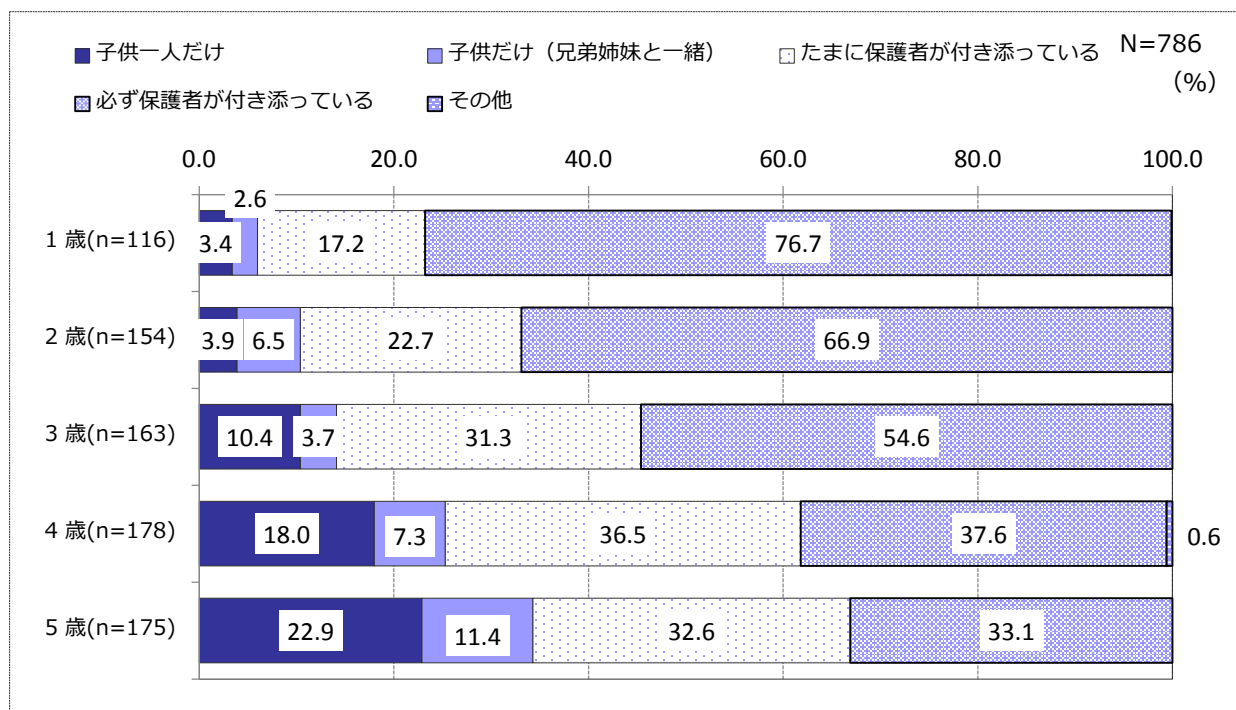


図 34. 子供の一人みがき時の付添い実態 (子供の年齢別) Q11

子供の歯みがき時の歩き回り状況を図 35、図 36 に示す。“歩き回ることがある”（「いつも歩き回る」＋「ときどき歩き回る」＋「たまに歩き回ることがある」）との回答が 76.0%と 7 割を超えている。中でも「いつも歩き回る」との回答が 16.1%と 1 割を超えている。

子供の年齢別に比較すると、「いつも歩き回る」との回答は 1 歳で 23.5%、5 歳で 6.5%と年齢が上がるにつれて減少しているが、“歩き回ることがある”割合はどの年齢においても 7 割を超えており、年齢が上がることで頻度は減るものの歩き回る行動自体はなくなっていないことが分かる。

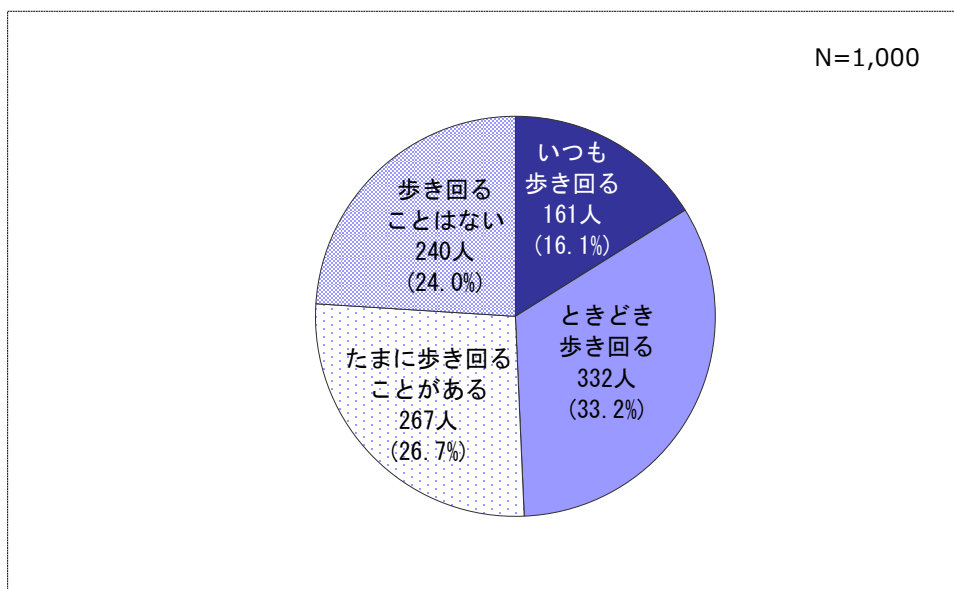


図 35. 歯みがき時の歩き回り実態（単数回答）Q14

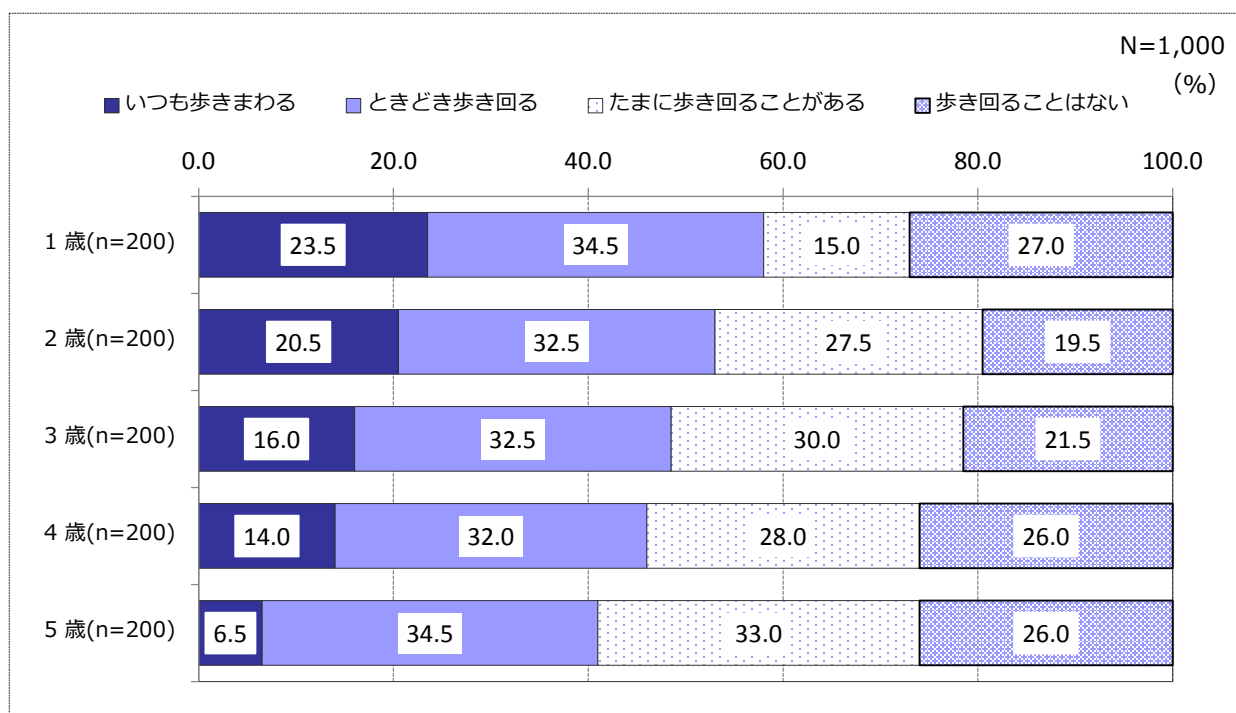


図 36. 歯みがき時の歩き回り実態（子供の年齢別）Q14

5 歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害経験

1) ヒヤリ・ハットおよび危害経験

歯みがき中の歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害経験有無について尋ねたところ、“経験がある”（「はい（子供の一人みがき）」＋「はい（保護者による歯みがき）」）との回答は16.0%となっている。中でも子供の一人みがき中のヒヤリ・ハットや危害経験が多くなっている。

ヒヤリ・ハットや危害を経験した年齢について図38に示す。「2歳0～5ヵ月」が21.9%と最も多い。次いで「1歳0～5ヵ月」「2歳6～11ヵ月」が15.6%と続く。2歳が最も多く、次いで1歳、3歳の順であり、3歳代では約7割が「3歳0～5ヵ月」の3歳前半に多く発生している。1歳から3歳前半での経験者が82.5%と8割強に達する。

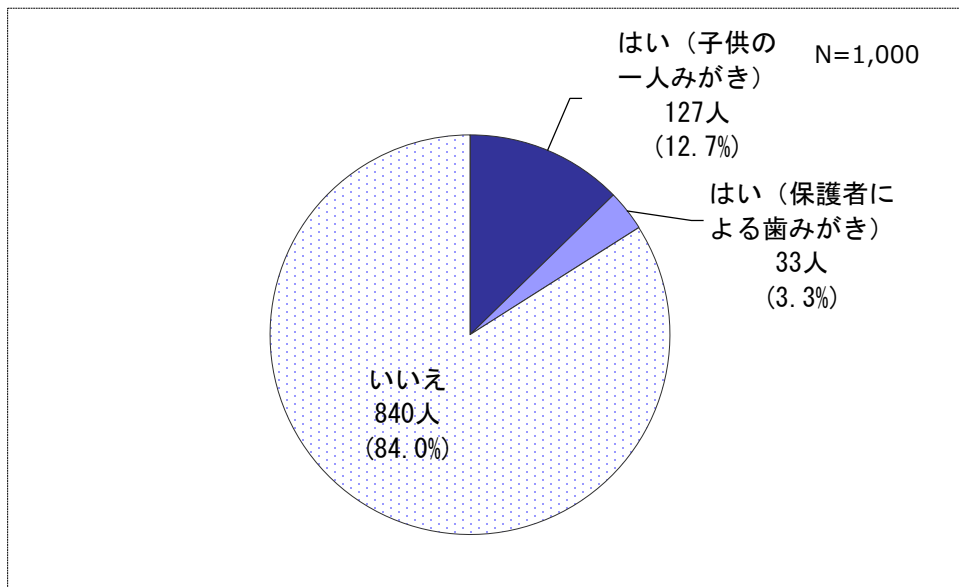


図37. 歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害経験（単数回答）Q15

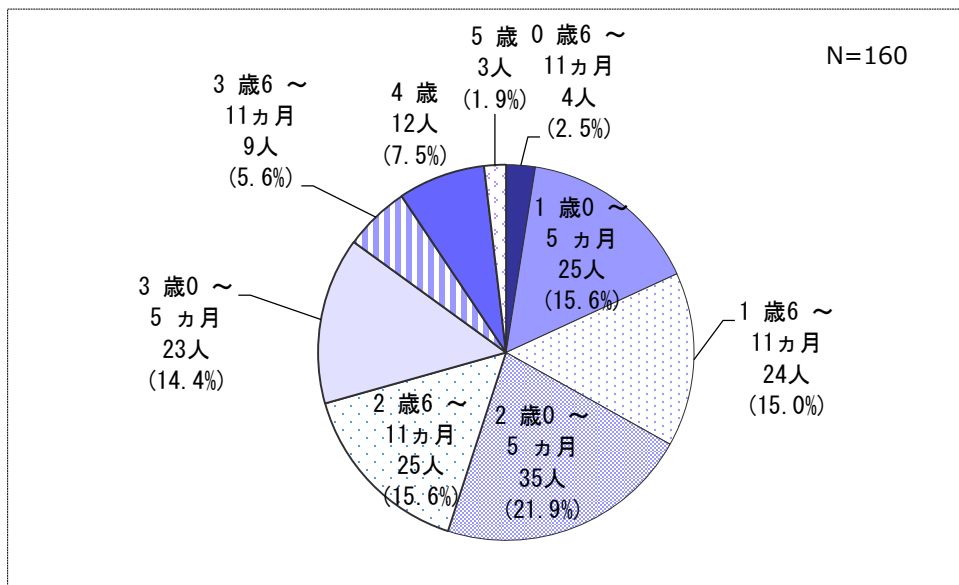


図38. ヒヤリ・ハットや危害経験年齢 Q16

2) ヒヤリ・ハットおよび危害状況

歯みがき中の歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害の経験者におけるけがの状態を図 39 に示す。“けがを負った”（「ケガなどをして入院」＋「ケガなどをして病院へ（入院除く）」＋「ケガはしたが病院には行かなかった」）との回答は 13 人（8.2%）となっており、「1 歳 6～11 か月」と「2 歳 0～5 か月」においてそれぞれ 1 人ずつ入院に至っている。“けがを負った”ケースは 2 歳 0～5 か月で 5 人と最も多くなっている。4 歳、5 歳では“けがを負った”ケースは見られない。

なお、このうち“「保護者による歯みがき」で“けがを負った”との回答は「ケガなどして病院へ（入院除く）」が 1 人、「ケガはしたが病院には行かなかった」が 1 人であった。

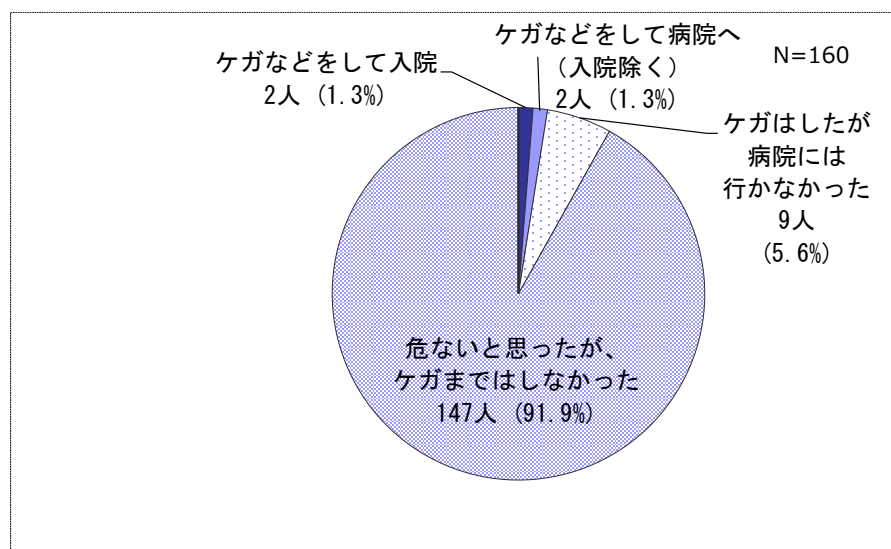


図 39. ヒヤリ・ハットおよび危害状況（単数回答）Q19

表 2. ヒヤリ・ハットおよび危害状況（経験年齢別）Q19XQ16
(件)

	n 数	ケガなどをして入院	ケガなどをして病院へ (入院除く)	ケガはしたが 病院には行か なかった	ケガないと思 ったが、	その他
全 体	160	2	2	9	147	0
0 歳 6～11 カ月	4	0	0	0	4	0
1 歳 0～ 5 カ月	25	0	0	1	24	0
1 歳 6～11 カ月	24	1	0	1	22	0
2 歳 0～ 5 カ月	35	1	1	3	30	0
2 歳 6～11 カ月	25	0	1	2	22	0
3 歳 0～ 5 カ月	23	0	0	0	23	0
3 歳 6～11 カ月	9	0	0	2	7	0
4 歳	12	0	0	0	12	0
5 歳	3	0	0	0	3	0

3) 危害内容

歯みがき中の歯ブラシによって“ケガを負った”13人における危害内容を図40に示す。「歯ブラシが刺さった」との回答は2人(15.4%)であり、2人とも「2歳0～5ヵ月」となっている。危害内容は「歯ブラシが当たり、切傷になった」との回答が9人(69.2%)と最も多い。

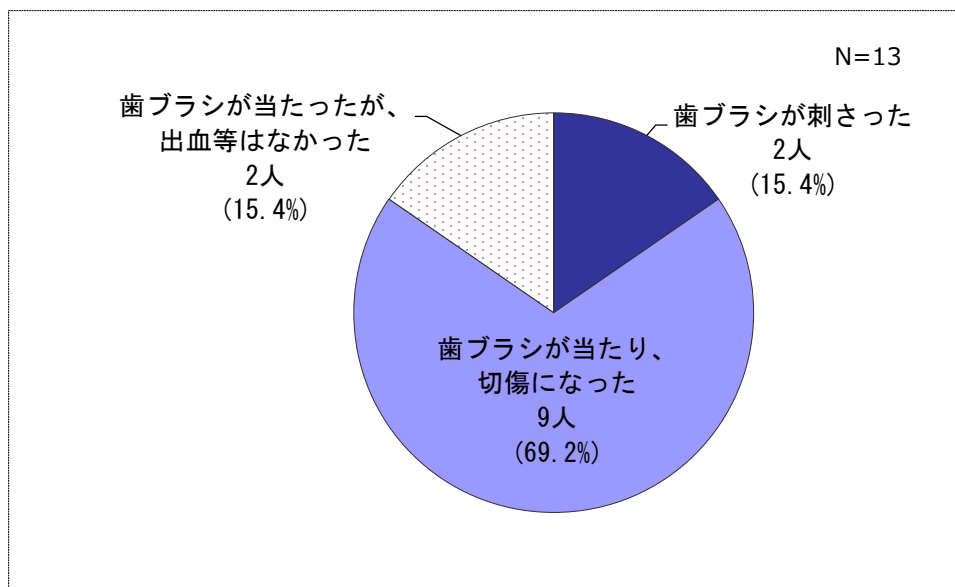


図 40. ヒヤリ・ハットおよび危害状況（単数回答）Q20

表 3. ヒヤリ・ハットおよび危害状況（経験年齢別）Q20XQ16

		(件)			
	n 数	歯 ブラ シが 刺さ った	歯 ブラ シが 当た り、 切傷 にな った	歯 ブラ シが 当た った が、 出血 等は なか った	そ の 他
全 体	13	2	9	2	0
0歳6～11ヵ月	0	0	0	0	0
1歳0～5ヵ月	1	0	1	0	0
1歳6～11ヵ月	2	0	2	0	0
2歳0～5ヵ月	5	2	3	0	0
2歳6～11ヵ月	3	0	1	2	0
3歳0～5ヵ月	0	0	0	0	0
3歳6～11ヵ月	2	0	2	0	0
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

4) 発生場所

歯みがき中の歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害の経験が発生した場所について図 41 に示す。「自宅の居間」との回答が 53.8%と最も多く、半数を超えている。次いで、「自宅の洗面所」が 29.4%、「自宅の寝室」が 10.6%と続く。年齢別に見ると、「自宅の居間」は「2 歳 0～5 ヶ月」において 22 件と最も多い。「自宅の洗面所」におけるヒヤリ・ハットおよび危害の発生は年齢の偏りがなく、様々な年齢で起きている。

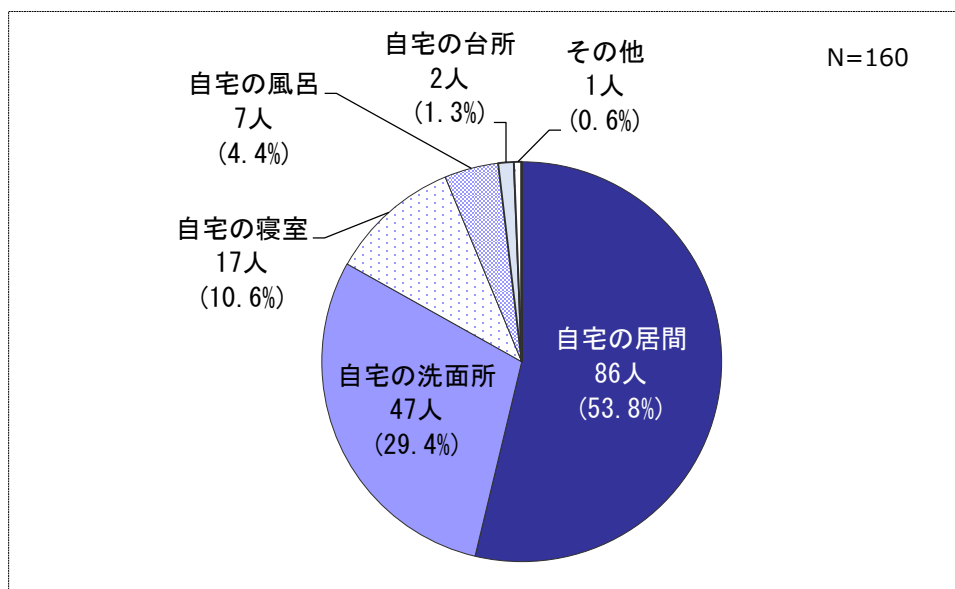


図 41. ヒヤリ・ハットおよび危害発生場所（単数回答）Q17

表 4. ヒヤリ・ハットおよび危害発生場所（経験年齢別）Q17XQ16

		(件)							
	n 数	自宅の居間	自宅の洗面所	自宅の寝室	自宅の風呂	自宅の台所	幼稚園・保育所	祖父母の家	その他
全 体	160	86	47	17	7	2	0	0	1
0 歳 6～11 ヶ月	4	1	3	0	0	0	0	0	0
1 歳 0～ 5 ヶ月	25	14	4	3	3	1	0	0	0
1 歳 6～11 ヶ月	24	12	7	4	1	0	0	0	0
2 歳 0～ 5 ヶ月	35	22	8	4	0	1	0	0	0
2 歳 6～11 ヶ月	25	15	6	3	1	0	0	0	0
3 歳 0～ 5 ヶ月	23	13	9	1	0	0	0	0	0
3 歳 6～11 ヶ月	9	4	4	0	1	0	0	0	0
4 歳	12	4	5	1	1	0	0	0	1
5 歳	3	1	1	1	0	0	0	0	0

ケガの程度別にヒヤリ・ハットおよび危害経験が発生した場所について表5に示す。「ケガなどをして入院」したケースは「自宅の洗面所」と「自宅の寝室」においてそれぞれ1件ずつ発生していた。「危ないと思ったが、ケガまではしなかった」ヒヤリ・ハットのケースでは「自宅の居間」で発生したものが82件と最も多く、次いで「自宅の洗面所」が42件となっている。

表 5. ヒヤリ・ハットおよび危害発生場所（ケガの程度別）Q17XQ19

(件)

n 数		自宅 の 居 間	自宅 の 洗 面 所	自宅 の 寝 室	自宅 の 風 呂	自宅 の 台 所	幼稚園・ 保育所	祖 父 母 の 家	そ の 他
全 体	160	86	47	17	7	2	0	0	1
ケガなどをして入院	2	0	1	1	0	0	0	0	0
ケガなどをして病院へ (入院除く)	2	1	1	0	0	0	0	0	0
ケガはしたが病院には 行かなかった	9	3	3	3	0	0	0	0	0
危ないと思ったが、ケ ガまではしなかった	147	82	42	13	7	2	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5) 発生原因

歯みがき中の歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害の経験が発生した原因について図 42 に示す。「ころんだ」との回答が 68.1%と最も多く、半数を超えている。次いで、「台から転落した」が 11.9%となっている。年齢別に見ると、「1 歳 0～5 ヶ月」と「1 歳 6～11 ヶ月」では「ころんだ」ケースが大半を占めており、それぞれ 84.0%と 79.2%となっている。「2 歳 0～5 ヶ月」では「ころんだ」ケースが最も多くなっているが、「台から転落した」、「人にぶつかった」「物にぶつかった」等その原因が多様化しており、子供の運動能力や活動範囲の広がりにより様々な危険要因が増えていることが分かる。

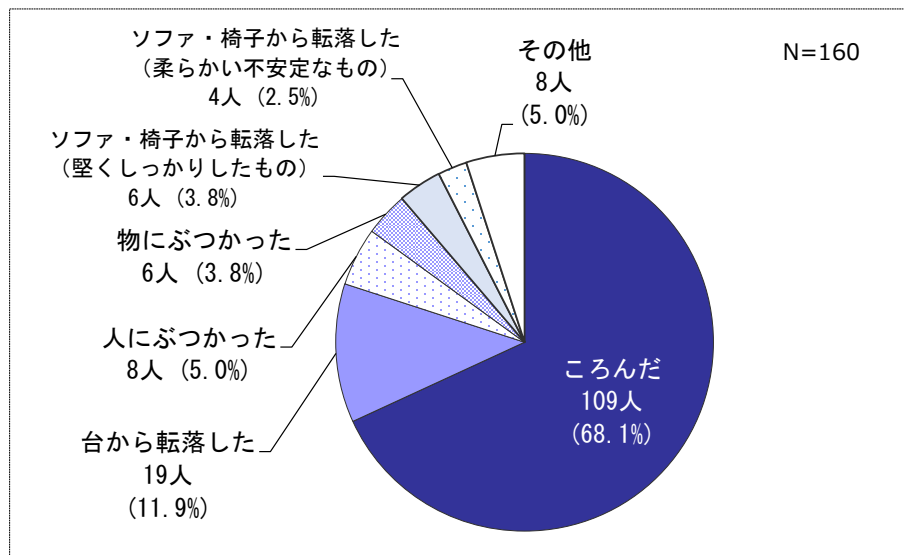


図 42. ヒヤリ・ハットおよび危害発生原因（単数回答）Q18

表 6. ヒヤリ・ハットおよび危害発生原因（経験年齢別）Q18XQ16

		(件)						
n 数		ころんだ	台から転落した	人にぶつかった	物にぶつかった	ソファ・椅子から転落した (堅くしっかりしたもの)	ソファ・椅子から転落した (柔らかい不安定なもの)	その他
全 体	160	109	19	8	6	6	4	8
0 歳 6～11 ヶ月	4	3	1	0	0	0	0	0
1 歳 0～ 5 ヶ月	25	21	0	1	0	2	0	1
1 歳 6～11 ヶ月	24	19	2	0	1	0	0	2
2 歳 0～ 5 ヶ月	35	22	4	3	2	2	1	1
2 歳 6～11 ヶ月	25	16	3	1	0	1	2	2
3 歳 0～ 5 ヶ月	23	16	4	0	2	0	0	1
3 歳 6～11 ヶ月	9	5	1	1	1	1	0	0
4 歳	12	6	3	2	0	0	0	1
5 歳	3	1	1	0	0	0	1	0

ケガの程度別にヒヤリ・ハットおよび危害経験が発生した原因について表7に示す。「ケガなどをして入院」したケースは2件とも「ころんだ」ことが原因となっていた。「危ないと思ったが、ケガまではしなかった」ヒヤリ・ハットのケースでは「ころんだ」との回答が100件(68.0%)となっている。次いで「台から転落した」が18件(12.2%)となっている。

表 7. ヒヤリ・ハットおよび危害発生場所（ケガの程度別） Q18XQ19

(件)

n 数		ころんだ	台から転落した	人にぶつかった	物にぶつかった	ソファ・椅子から転落した (堅くしつかりしたもの)	ソファ・椅子から転落した (柔らかい不安定なもの)	その他
全 体	160	109	19	8	6	6	4	8
ケガなどをして入院	2	2	0	0	0	0	0	0
ケガなどをして病院へ (入院除く)	2	0	0	1	0	1	0	0
ケガはしたが病院には 行かなかった	9	7	1	0	1	0	0	0
危ないと思ったが、ケ ガまではしなかった	147	100	18	7	5	5	4	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

6) 使用歯ブラシ

ヒヤリ・ハットや危害の経験が発生した際に使用していた歯ブラシについて図 43 に示す。「通常タイプ」が 76.9%と最も多く、次いで、「コブ付タイプ」が 11.9%、「安全具タイプ」が 6.3%と続く。年齢別に見ると、「3 歳 0～5 ヶ月」から「4 歳」ではほとんどのケースで「通常タイプ」を使用している。「5 歳」では全事例が「通常タイプ」を使用している。

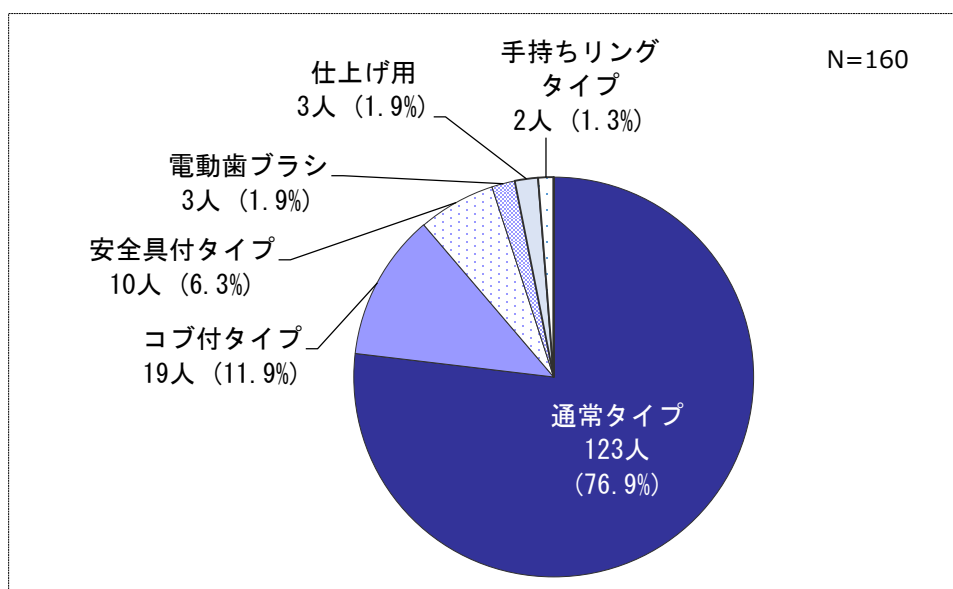


図 43. ヒヤリ・ハットおよび危害経験時使用歯ブラシ（単数回答） Q21

表 8. ヒヤリ・ハットおよび危害経験時使用歯ブラシ（経験年齢別） Q21XQ16
(件)

	n 数	通常 タイプ	コブ 付 タイプ	安全 具 付 タイプ	電動 歯 ブラ シ	仕 上 げ 用	手 持 ち リ ン グ タ イ プ	そ の 他
全 体	160	123	19	10	3	3	2	0
0 歳 6～11 ヶ月	4	2	1	1	0	0	0	0
1 歳 0～ 5 ヶ月	25	17	0	4	2	1	1	0
1 歳 6～11 ヶ月	24	20	2	2	0	0	0	0
2 歳 0～ 5 ヶ月	35	28	5	2	0	0	0	0
2 歳 6～11 ヶ月	25	14	9	0	0	1	1	0
3 歳 0～ 5 ヶ月	23	21	0	1	0	1	0	0
3 歳 6～11 ヶ月	9	8	1	0	0	0	0	0
4 歳	12	10	1	0	1	0	0	0
5 歳	3	3	0	0	0	0	0	0

ケガの程度別にヒヤリ・ハットおよび危害経験が発生した際に使用していた歯ブラシについて表9に示す。「ケガなどをして入院」したケースは2件とも「通常タイプ」を使用していた。「安全具タイプ」「仕上げ用」および「手持ちリングタイプ」では“けがを負った”（「ケガなどをして入院」＋「ケガなどをして病院へ（入院除く）」＋「ケガはしたが病院には行かなかった」）ケースは報告されなかった。

「危ないと思ったが、ケガまではしなかった」ヒヤリ・ハットのケースでは「通常タイプ」との回答が114件（77.6%）となっている。次いで「コブ付タイプ」が16件（10.9%）、「安全具付タイプ」が10件（6.8%）となっている。

表9. ヒヤリ・ハットおよび危害経験時使用歯ブラシ（ケガの程度別）Q21XQ19
(件)

n 数		通常 タイプ	コブ 付 タイプ	安全 具 付 タイプ	電動 歯 ブラ シ	仕 上 げ 用	手 持 ち リ ン グ タ イ プ	そ の 他
全 体	160	123	19	10	3	3	2	0
ケガなどをして入院	2	2	0	0	0	0	0	0
ケガなどをして病院へ （入院除く）	2	1	1	0	0	0	0	0
ケガはしたが病院には 行かなかった	9	6	2	0	1	0	0	0
危ないと思ったが、ケ ガまではしなかった	147	114	16	10	2	3	2	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

7) ヒヤリ・ハットおよび危害の原因

保護者がヒヤリ・ハットや危害の経験が発生した原因と考えていることについて図 44 に示す。「保護者が目を離してしまった」が 40.0%と最も高く、次いで「くわえたまま移動しない、歯ブラシで遊ばないなど、子供に注意していなかった」が 36.3%と続き、保護者の不注意や指導不足を原因と考える割合が高くなっている。

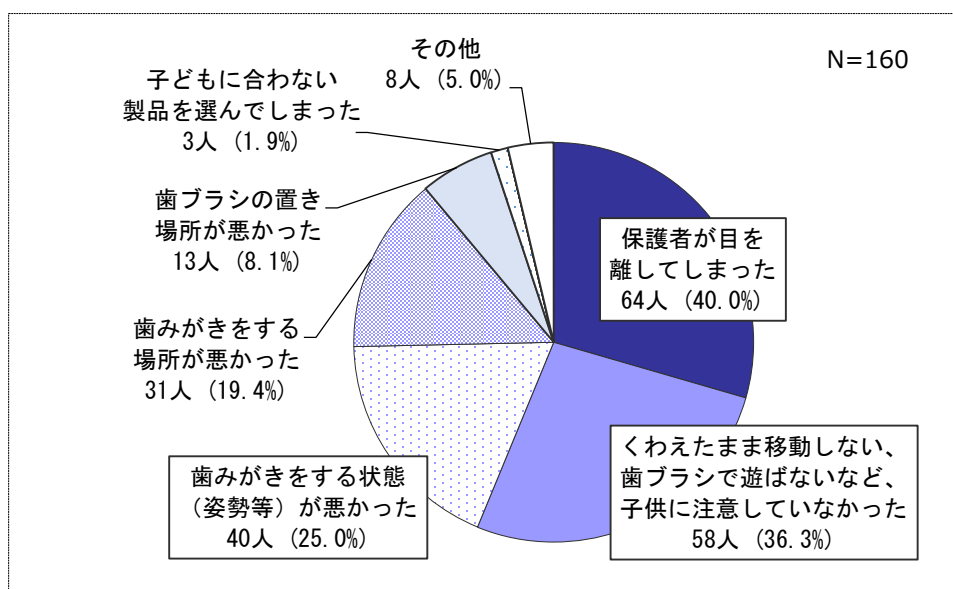


図 44. ヒヤリ・ハットおよび危害の原因（単数回答） Q23

表 10. ヒヤリ・ハットおよび危害の原因（経験年齢別） Q23XQ16

		(件)								
	n 数	保護者が目を離してしまった	くわえたまま移動しない、歯ブラシで遊ばないなど、子供に注意していなかった	歯みがきをする状態（姿勢等）が悪かった	歯みがきをする場所が悪かった	歯ブラシの置き場所が悪かった	子どもに合わない（年齢、発達状況に適さない）製品を選んでしまった	歯ブラシが壊れていた、壊れた	製品の注意表示が判りづらい、読みにくい	その他
全 体	160	64	58	40	31	13	3	0	0	8
0 歳 6～11 ヲ月	4	3	2	0	0	1	0	0	0	0
1 歳 0～ 5 ヲ月	25	9	10	3	6	2	1	0	0	2
1 歳 6～11 ヲ月	24	10	6	9	7	0	0	0	0	1
2 歳 0～ 5 ヲ月	35	14	10	10	6	3	0	0	0	2
2 歳 6～11 ヲ月	25	11	12	5	5	2	1	0	0	0
3 歳 0～ 5 ヲ月	23	11	5	6	4	1	1	0	0	3
3 歳 6～11 ヲ月	9	4	3	4	2	2	0	0	0	0
4 歳	12	1	8	2	0	2	0	0	0	0
5 歳	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0

ケガの程度別に保護者がヒヤリ・ハットおよび危害経験が発生した原因と考えていることについて表 11 に示す。「ケガなどをして入院」したケースでは「保護者が目を離してしまった」「歯みがきをする場所が悪かった」および「歯ブラシの置き場所が悪かった」と考えている。

表 11. ヒヤリ・ハットおよび危害の原因（ケガの程度別） Q23XQ19

(件)

	n 数	保護者が目を離してしまった	くわえたまま移動しない、歯ブラシで遊ばないなど、子供に注意していなかった	歯みがきをする状態（姿勢等）が悪かった	歯みがきをする場所が悪かった	歯ブラシの置き場所が悪かった	子どもに合わない（年齢、発育状況に適さない）製品を選んではしまった	歯ブラシが壊れていた、壊れた	製品の注意表示が判りづらい、読みにくい	その他
全 体	160	64	58	40	31	13	3	0	0	8
ケガなどをして入院	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
ケガなどをして病院へ（入院除く）	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
ケガはしたが病院には行かなかった	9	6	3	4	1	0	0	0	0	0
危ないと思ったが、ケガまではしなかった	147	57	54	35	29	12	3	0	0	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8) ヒヤリ・ハットおよび危害の報告

歯みがき中の歯ブラシによるヒヤリ・ハットや危害を経験した際に、製品についてどこかに報告したかどうかを尋ねた結果について図 45 に示す。どこにも「報告しなかった」との回答が 91.3%と 9 割を占める。報告した中では「販売店」が 6 人 (3.8%) と最も多く、次いで「消費生活センター」が 5 人 (3.1%)、メーカーが 4 人 (2.5%) と続く。

どこにも報告しなかった理由として“保護者や本人の責任だから”との回答が 67 件と最も多く、次いで“けがをしていないから”、“製品の問題ではないから”との回答がそれぞれ 18 件と続く。

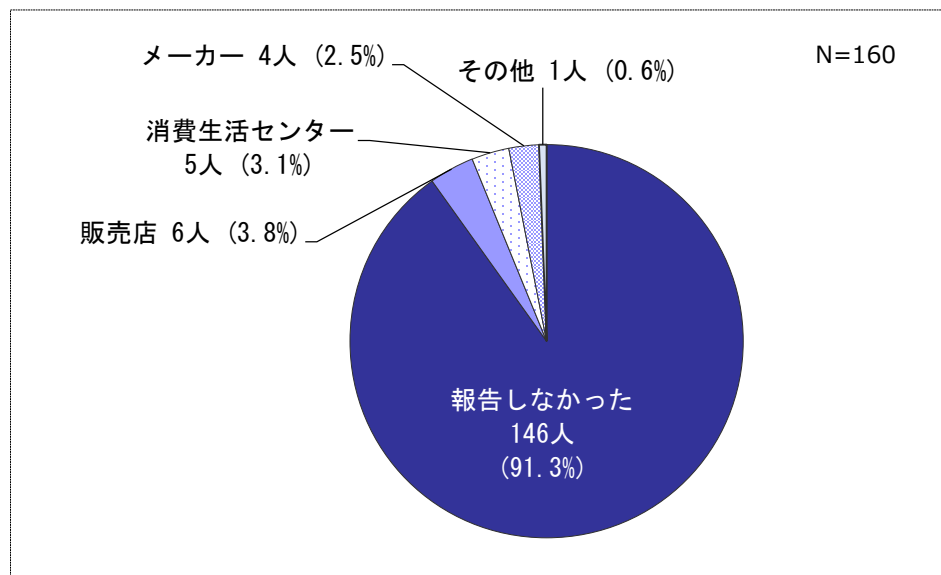


図 45. ヒヤリ・ハットおよび危害の報告 (単数回答) Q24

表 12. ヒヤリ・ハットおよび危害の報告 (経験年齢別) Q24XQ16
(件)

	n 数	報告し なかつ た	販 売 店	消 費 生 活 セ ン タ ー	メ ー カ ー	そ の 他
全 体	160	146	6	5	4	1
0 歳 6～11 カ月	4	4	0	0	0	0
1 歳 0～ 5 カ月	25	23	1	1	1	0
1 歳 6～11 カ月	24	22	0	1	1	0
2 歳 0～ 5 カ月	35	33	1	0	0	1
2 歳 6～11 カ月	25	21	2	1	1	0
3 歳 0～ 5 カ月	23	22	1	0	0	0
3 歳 6～11 カ月	9	7	0	2	1	0
4 歳	12	11	1	0	0	0
5 歳	3	3	0	0	0	0

9) ヒヤリ・ハットおよび危害の具体事例

No.	事例	場所	形状	月齢	内容
1	転倒	洗面所	通常タイプ	1歳4ヵ月	未だ歩くのがうまくなかったのでよたよた歩いていて顔から歯ブラシを持って転んだ。歯ブラシは折れず、特に刺さることもなく子供はびっくりして泣いただけだった。
2	転倒	洗面所	通常タイプ	4歳10ヵ月	朝、洗面所でひとりで歯磨きをしていたとき、台所にいた母親に駆け寄って転んだが、歯ブラシは手にもっていたので、怪我はなかった。
3	転倒	洗面所	手持ちリングタイプ	1歳0ヵ月	洗面所で歯磨きをしていたところバランスを崩して転んだ。
4	転倒	居間	通常タイプ	0歳8ヵ月	歯ブラシをくわえたままふらついて転倒した。
5	転倒	居間	通常タイプ	1歳6ヵ月	歯ブラシをくわえたまま、部屋の中を走り回り、転んだ。
6	転倒	居間	通常タイプ	3歳6ヵ月	夕食後の歯磨きしている際、兄とふざけていて突き飛ばされた。喉の奥に当たったようだが、病院に行くまでもなく、注意で終える。
7	転倒	居間	コブ付タイプ	2歳10ヵ月	子供が自分で歯磨きしているときに、走り回って転んだことで口の中に裂傷を負った。
8	転倒	居間	電動歯ブラシ	1歳3ヵ月	歯磨きでテンションが上がり、歩き回りながら歯ブラシをくわえていたところ、突然つまずき口内から少々出血をした。
9	転倒	寝室	通常タイプ	1歳9ヵ月	歯磨きをしたままお兄ちゃんがいるベッドに行き、ふざけていて転んだ。その時は大丈夫そうだったが、水分を取るのが辛そうだったので耳鼻科へ行ってCTを撮ったところ、縦隔気腫と診断されて入院となった。
10	転倒	寝室	通常タイプ	2歳0ヵ月	歯磨きしながら歩いていてつまずいてころんだ。
11	転倒	寝室	通常タイプ	2歳5ヵ月	姉兄と一緒に歯磨きをしていて、いつの間にか一人で寝室に行っていたらしく、歯ブラシを持ったまま転んで口の中が傷ついてしまった。
12	転落	洗面所	通常タイプ	0歳10ヵ月	一人で歯磨きをしている時、ママが少しだけ居間の方へ行こうとして、子供がついてこようと台から降りた時、足を踏み外して危なかった。
13	転落	洗面所	通常タイプ	1歳8ヵ月	歯磨き中にふざけていて台から足を滑らせて落ちかけた。親が側にいて支えたので怪我などはなかったがひやりとした。
14	転落	洗面所	通常タイプ	3歳1ヵ月	一瞬目を離したすきに、子供が歯ブラシを持ったまま台から降りようとしてその時にバランスを崩しそうになった。
15	転落	洗面所	通常タイプ	3歳4ヵ月	歯磨き中に、動いていて座っていた椅子から落ちた。前にそのまま転ぶと喉に歯ブラシが刺さると思ったので、とっさに横向きに転ぶように手で倒した。横向きに倒れたので、歯ブラシは喉に刺さらず、腕を打っただけで済んだ。
16	転落	洗面所	通常タイプ	5歳0ヵ月	歯ブラシをくわえた状態で、台を踏み外して落ちた。幸い、口からブラシを落ちた瞬間に離れたらしく怪我はなかった。
17	転落	洗面所	コブ付タイプ	2歳11ヵ月	よそ見をして、台からすべり落ちた。
18	転落	居間	通常タイプ	1歳8ヵ月	ソファから落ちて、くわえていた歯ブラシが喉に刺さりそうになった。
19	転落	居間	通常タイプ	2歳0ヵ月	ソファに、座ったり立ったりジャンプして、転んではいけないが、危ないと思い注意した。
20	転落	居間	通常タイプ	5歳6ヵ月	ソファの上でごろごろしていたら、そのまま落ちた。
21	転落	その他	通常タイプ	4歳0ヵ月	歯磨きしながら歩き回り、階段に昇って行った。降りるように注意したら、足を滑らせ転びそうになった。滑った時に歯ブラシが口から落ちたので怪我はしなかった。
22	人にぶつかる	居間	通常タイプ	2歳10ヵ月	当時8歳の長男と3歳の長女が今で歩いていてぶつかって、歯ブラシがのどにあたり、3歳長女が吐いた。
23	人にぶつかる	居間	通常タイプ	2歳1ヵ月	20時ごろ寝る前の歯磨きをしていた時に、ふざけて姉とぶつかり、歯ブラシがのどにささり大出血した。#8119にかけて相談したところ、救急車を呼ぶように言われたので、救急車を呼んだ。夜間診療で小児科と咽喉科が二人いないといけなくて、病院に運ばれるまでに時間がかった。救急隊員は「こういう時のための救急車だから呼んでいいんですよ」とやさしかったが、病院では「こんなことぐらいで来るな」という態度をとられた。病院では血は止まっていたが、傷口が腫れて呼吸ができなくならないように数日観察するように言われて、何も処置されないまま帰された。

No.	事例	場所	形状	月 齢	内 容
24	人にぶつかる	居間	電動歯ブラシ	4 歳 0 ヶ月	午前中に電動歯ブラシを口に入れたまま歩き回って、家族とぶつかった。
25	物にぶつかる	居間	通常タイプ	3 歳 6 ヶ月	勝手に歩きながら歯ブラシをくわえたまま歩いてしまい、廊下の壁にぶつかって歯ブラシが喉をつきそうになった。
26	物にぶつかる	洗面所	通常タイプ	1 歳 6 ヶ月	歯磨き中、洗面台にぶつかって傷がついた。
27	物にぶつかる	居間	コブ付タイプ	2 歳 3 ヶ月	歯磨き中に歩き回りドアにぶつかった。
28	頭を動かす	居間	通常タイプ	2 歳 10 ヶ月	寝転がって仕上げ磨きをしていた時に、外の様子が気になり、頭を強く動かして歯ブラシが口の奥にあたった。
29	頭を動かす	居間	コブ付タイプ	2 歳 6 ヶ月	歯磨きをする際、親の股で子供の頭をはさんで固定しているが、仕上げ歯磨きをしている最中に、子供が嫌がって頭を振ったため歯ブラシがあたった。
30	頭を動かす	居間	電動歯ブラシ	1 歳 3 ヶ月	リビングで仕上げ磨き中に顔を背けて歯茎に歯ブラシがあたった。

6 子供の歯みがき事故に関する認知度

1) 子供の歯ブラシの取り扱いについての危険性

子供の歯磨き中の歯ブラシの取り扱いについて、危険性を感じているかどうかについて尋ねた結果を図 46 に示す。“危ないと感じている”（「とても危ないと感じている」＋「多少は危ないと感じている」）との回答は全体で 71.1% と 7 割を超えている。

子供の年齢別に比較すると「とても危ないと感じている」割合は 1 歳では 32.5% と 3 割を超えているが、年齢が上がるにつれて低くなり、5 歳では 14.0% となっている。

なお、平成 25 年 3 月の消費者庁・国民生活センターの報告によると、「歯磨き中の歯ブラシの事故について、危険性を感じていますか。」の設問に対し“危ないと感じている”との回答は 80.8% であった。

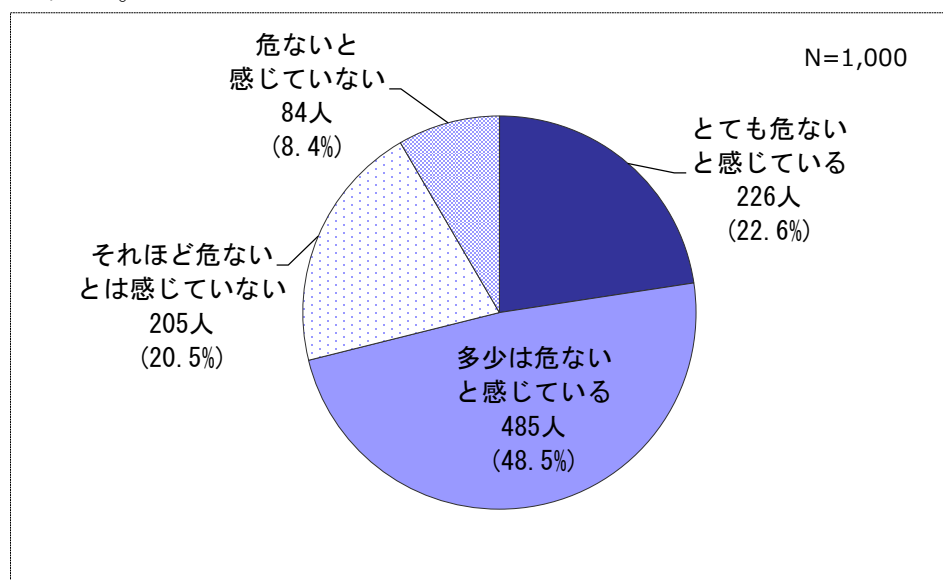


図 46. 歯ブラシの危険性（単数回答） Q25

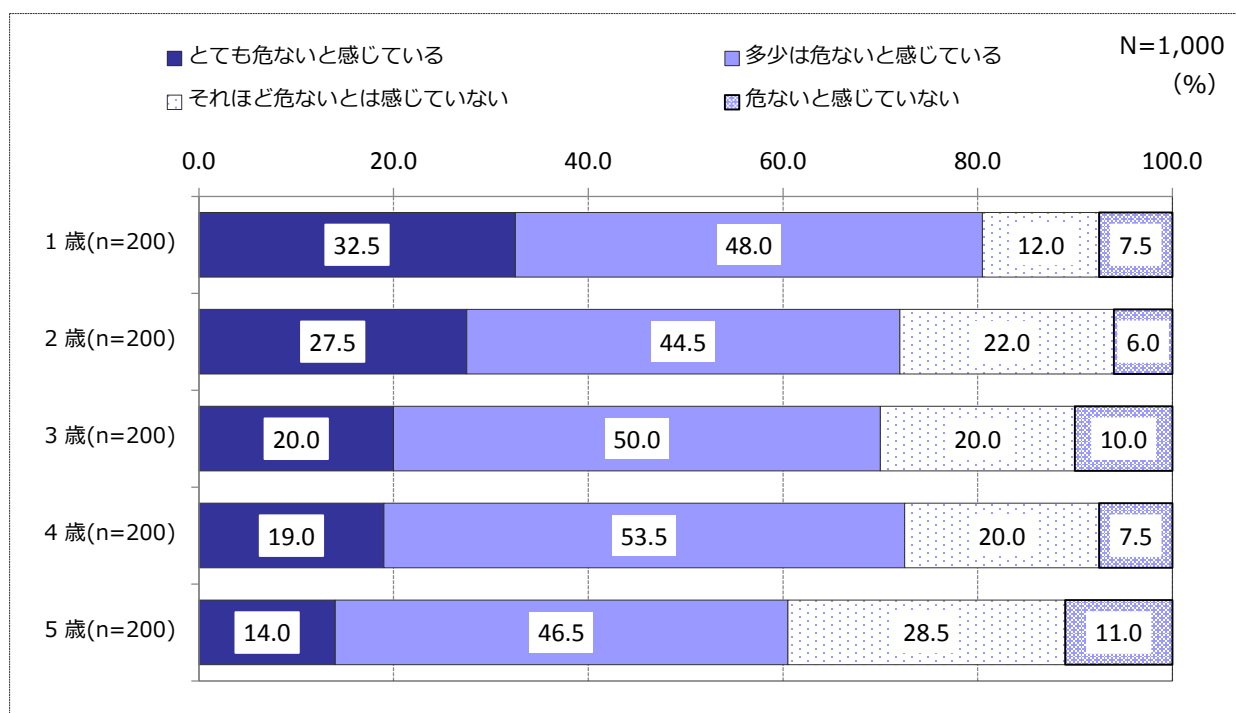


図 47. 歯ブラシの危険性（子供の年齢別） Q25

2) 歯ブラシによる事故の認知度

子供の歯磨き中の歯ブラシによる事故に関する認知度を図 48 に示す。「事故があることも、中には重症事例があることも知っている」との回答は全体で 67.7%、「事故が起きていることは知っているが、重症事例があることは知らない」との回答は 22.9%となり、事故が起きていることを知っている割合は 90.6%と 9 割に達している。

子供の年齢別に比較するとどの年代においてもおよそ 9 割は事故が起きていることを知っていることが明らかとなったが、特に 1 歳では 93.5%とわずかではあるが、他の年齢と比較して認知率が高くなっている。

平成 25 年 3 月の消費者庁・国民生活センターの報告によると、「乳幼児が一人磨きしているときに転倒するなどして口腔内に歯ブラシが突き刺さるという事故について、聞いたことがありますか。」の設問に対し“聞いたことがある”との回答は 31.7%であり、事故の認知についてはこの数年間で高まっていることが窺える。

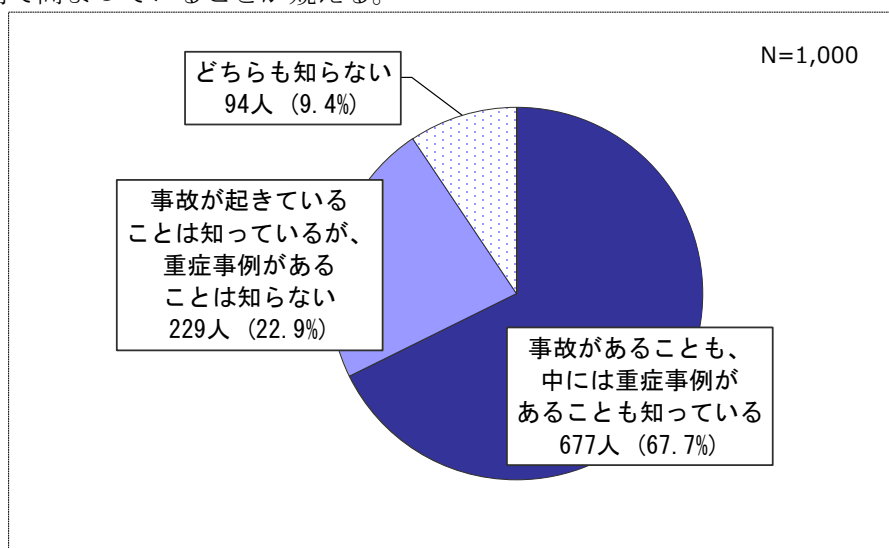


図 48. 歯ブラシによる事故の認知度（単数回答） Q26

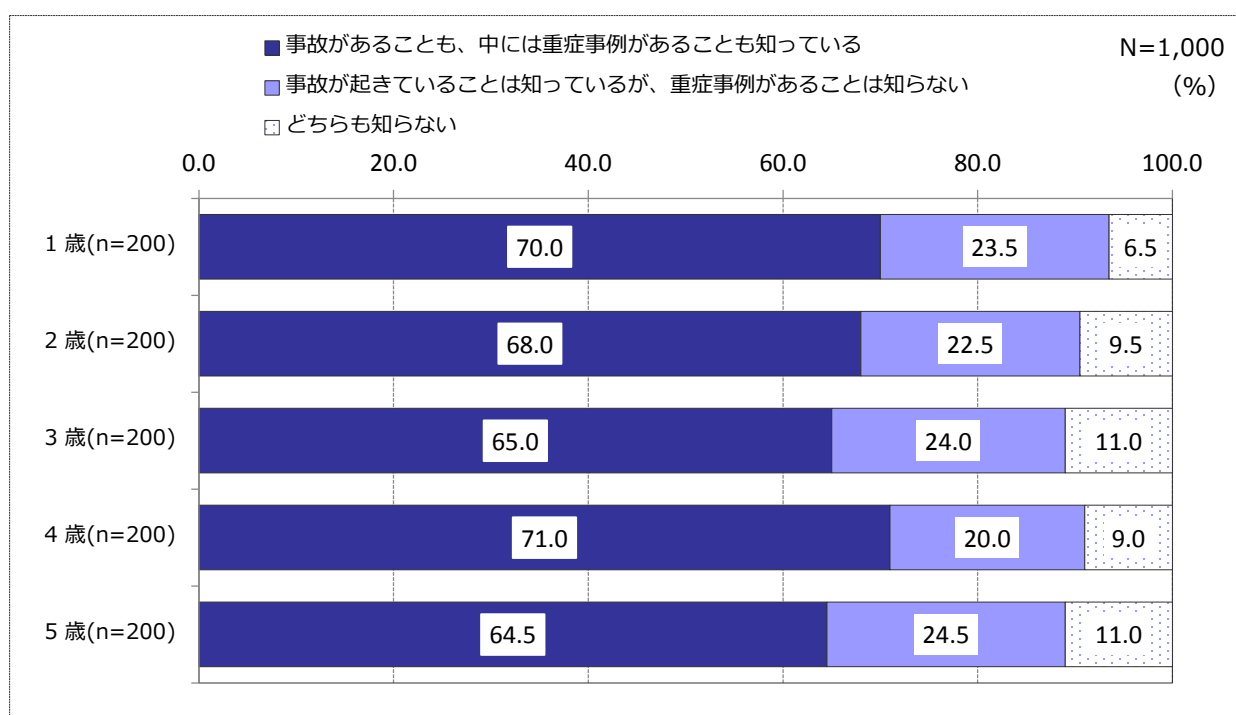


図 49. 歯ブラシによる事故の認知度（子供の年齢別） Q26

3) 歯ブラシによる事故の認知経路

子供の歯磨き中の歯ブラシによる事故の認知者に対し、その認知経路を尋ねた結果を図 50 に示す。「テレビ・ラジオのニュース」が 52.9%と最も多く、次いで「インターネットのニュース」が 30.7%、「家族・友人・知人」が 20.1%と続く。

子供の年齢別に比較すると 1 歳、2 歳では「乳幼児健診」や「小児科、歯科などの医療機関」で情報を得る割合が他の年齢より高くなっている。一方、4 歳、5 歳ではそうした機関から情報を入手する機会が減り、「テレビ・ラジオのニュース」や「インターネットのニュース」からの情報入手が主な経路となる。

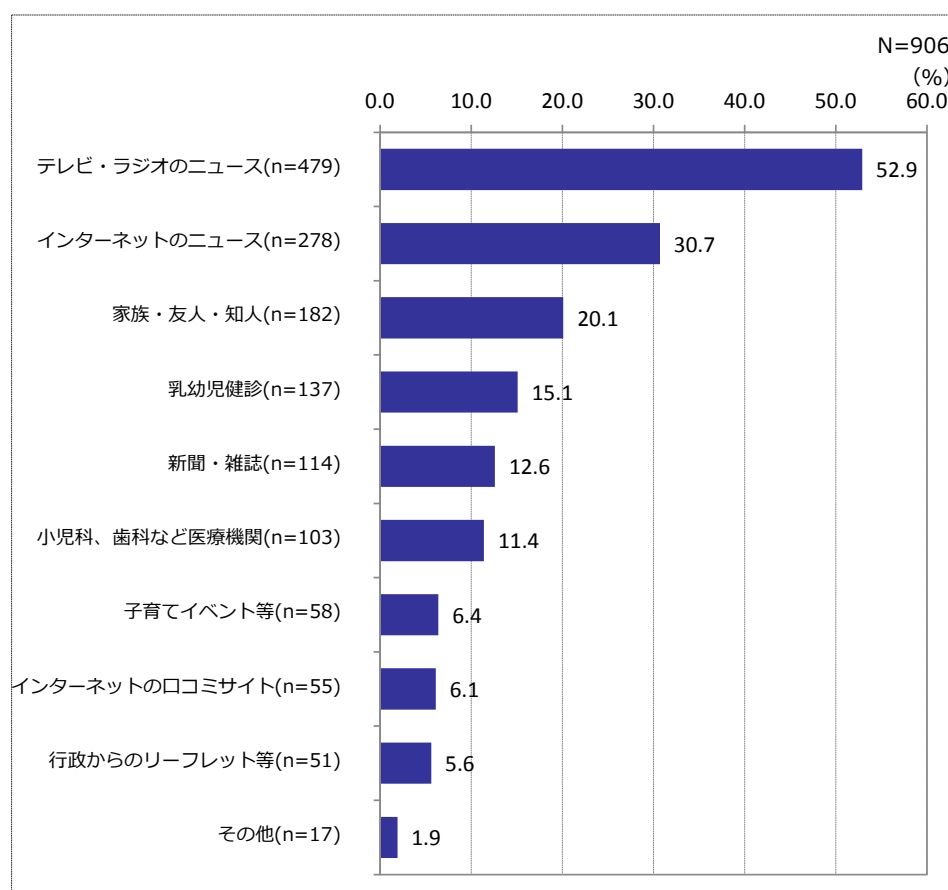


図 50. 歯ブラシによる事故の認知経路（複数回答）Q28

	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
テレビ・ラジオのニュース(n=479)	48.1	47.0	51.1	58.2	60.1
インターネットのニュース(n=278)	31.0	32.6	37.6	26.9	25.3
家族・友人・知人(n=182)	17.1	22.7	19.7	23.6	17.4
乳幼児健診(n=137)	19.3	23.2	12.4	9.9	10.7
新聞・雑誌(n=114)	9.1	9.4	12.4	16.5	15.7
小児科、歯科など医療機関(n=103)	12.8	14.9	10.7	9.3	9.0
子育てイベント等(n=58)	6.4	8.8	6.2	7.1	3.4
インターネットの口コミサイト(n=55)	3.7	7.7	5.6	7.1	6.2
行政からのリーフレット等(n=51)	5.9	8.8	5.6	5.5	2.2
その他(n=17)	2.1	1.7	1.7	2.2	1.7

図 51. 歯ブラシによる事故の認知経路（子供の年齢別）Q28

4) 家庭における歯ブラシによる事故防止対策

子供の歯磨き中の歯ブラシによる事故の防止対策について図 52 に示す。全体では「歯みがき中歩くなど、移動させない」が 59.3%と最も多く、次いで「子供が危ない行動をしていることに気づいたときは注意している」が 47.2%、「歯みがき中は必ず子供の側で見守っている」が 34.2%と続く。「特に注意はしていない」との回答は 6.6%に留まり、9 割以上の保護者が何らかの防止対策を行っている。

子供の年齢別に比較すると、「歯みがき中歩くなど、移動させない」との回答はどの年齢においても半数以上の保護者が行っている。年齢差が見られるものは「歯みがき中は必ず子供の側で見守っている」で 1 歳では 47.5%、2 歳では 48.5%となっているが、3 歳以降年齢が上がるにつれて割合が低くなり、5 歳では 19.0%と 2 割を切っている。

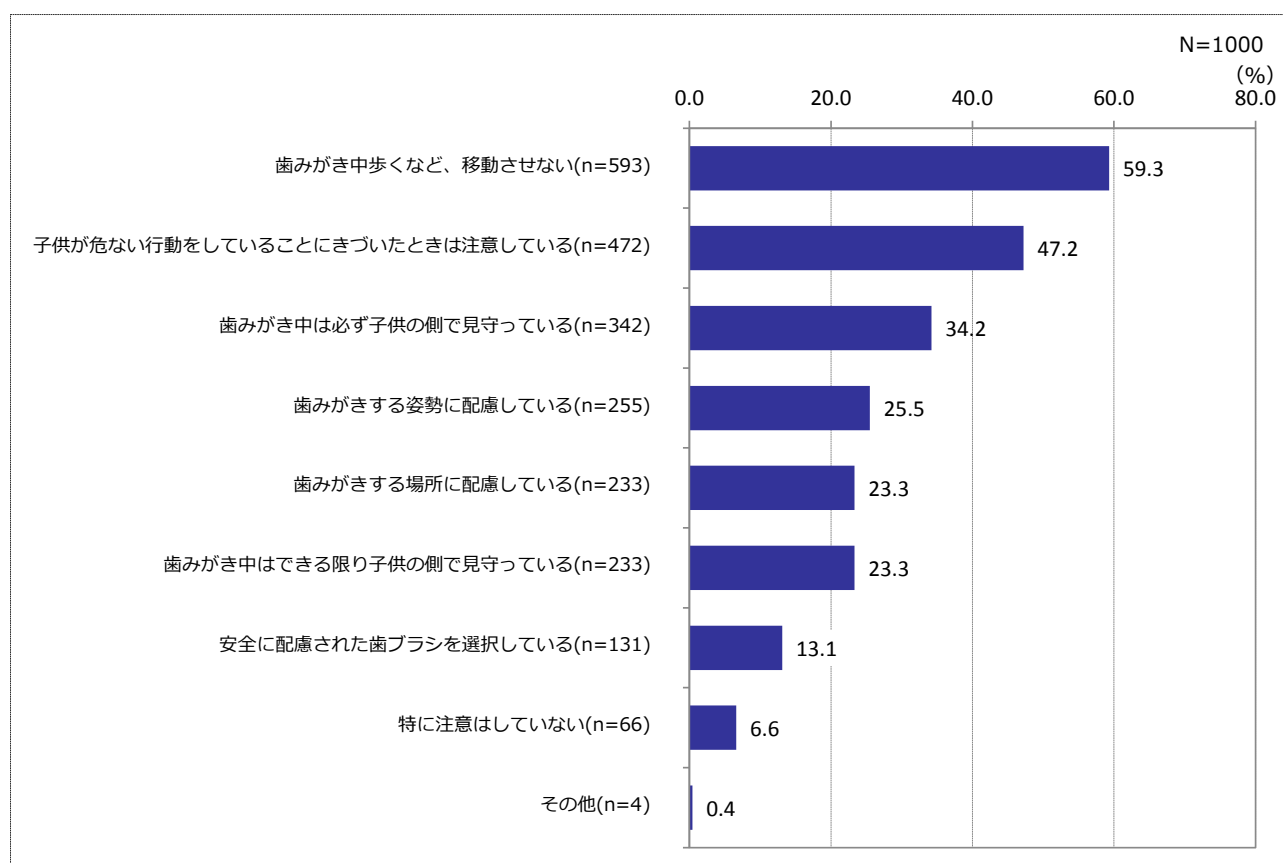


図 52. 家庭における歯ブラシによる事故防止対策（複数回答） Q27

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
歯みがき中歩くなど、移動させない(n=593)	54.5	59.5	60.5	65.5	56.5
子供が危ない行動をしていることに気づいたときは注意している(n=472)	43.5	44.0	49.5	49.5	49.5
歯みがき中は必ず子供の側で見守っている(n=342)	47.5	48.5	34.0	22.0	19.0
歯みがきする姿勢に配慮している(n=255)	23.5	28.0	26.0	25.5	24.5
歯みがきする場所に配慮している(n=233)	25.5	24.0	24.5	20.0	22.5
歯みがき中はできる限り子供の側で見守っている(n=233)	27.0	24.0	26.5	22.5	16.5
安全に配慮された歯ブラシを選択している(n=131)	26.5	12.5	9.5	8.5	8.5
特に注意はしていない(n=66)	6.5	4.0	5.5	6.5	10.5
その他(n=4)	0.5	0.0	1.0	0.0	0.5

図 53. 家庭における歯ブラシによる事故防止対策（子供の年齢別） Q27

5) 歯ブラシパッケージ注意表記の認知度

子供の歯ブラシパッケージの裏側等に記載されている注意表記の認知度について図 54 に示す。“知っている”（「注意表記を確認している」＋「注意表記があることは知っているが読んでいない」）が 62.9% となっている。しかし一方で“読んでいない”（「注意表記があることは知っているが読んでいない」＋「注意表記がない、気付かない」）が 68.3% となっており、6 割以上の保護者が注意表記を読んでいない。

子供の年齢別に比較すると、1 歳では「注意表記を確認している」は 4 割を超えているが、2 歳以上になると 3 割程度となっている。

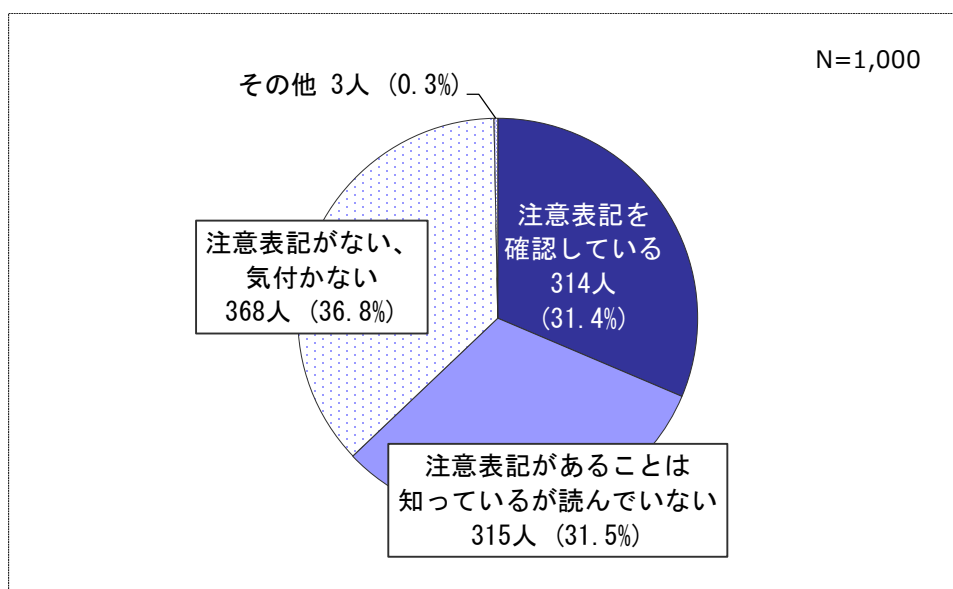


図 54. パッケージの注意表記の認知（単数回答） Q29

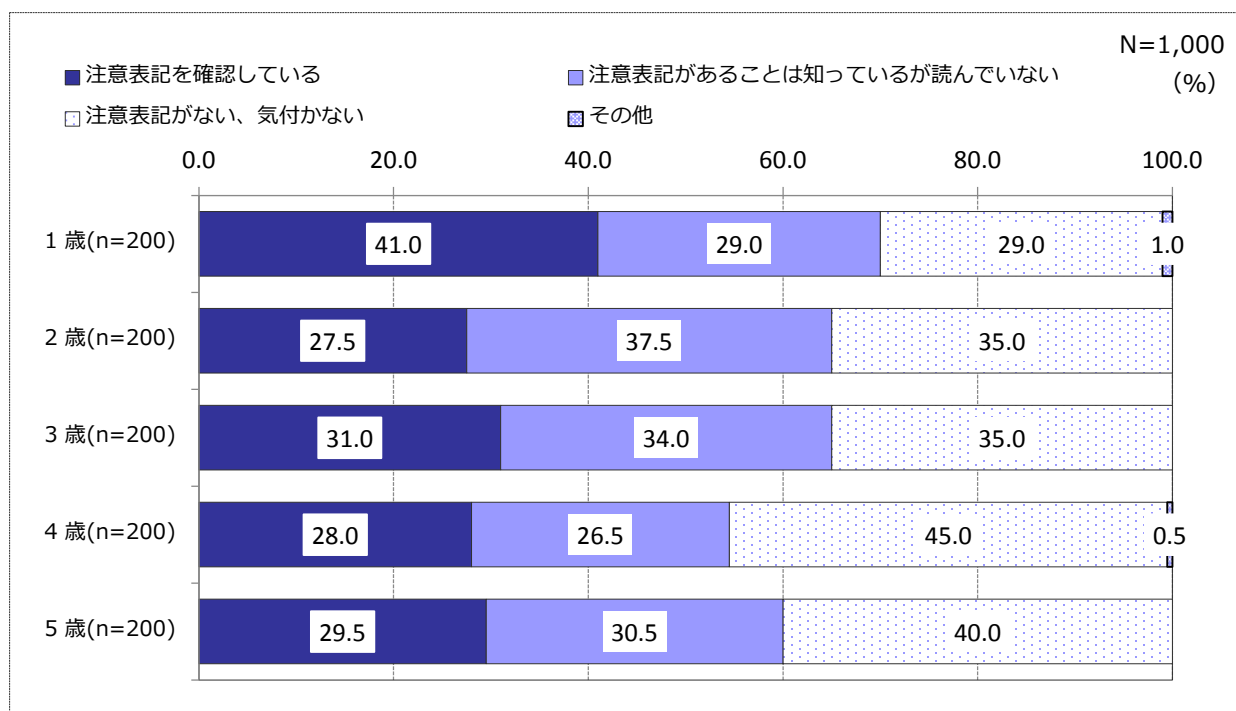


図 55. パッケージの注意表記の認知（子供の年齢別） Q29

7 子供の歯ブラシの安全性に対する意見・要望等

(1) 安全性に配慮した製品改良を求める意見

【安全要望】

- ・ 安全性、子どもが好きになるかわいさ、機能性を兼ね備えた歯ブラシにしてほしい。
- ・ 子供は突然動いたり落ち着きもないので、安心・安全な歯ブラシをいろいろ作ってほしい。
- ・ 万一口の中に歯ブラシが刺さりそうになった場合でも、被害が最小限に済むような工夫をしてほしい。保護者が目を離さないようにとか、正しい姿勢で磨くようにとか、努力はしているがなかなか完璧にはできない。どうしても、ちょっとした隙はできてしまう。

【形状改善】

- ・ 喉の奥にいかないような歯ブラシの設計をしてほしい。
- ・ 転んで喉に刺さる危険性を感じるので、柄の短いものが安価で買えると助かる。

【補助器具】

- ・ ガードが外せない歯ブラシがほしい。
- ・ ストッパーや手で滑りにくい工夫をして欲しい。

【柔らかい素材】

- ・ ブラシの部分が柔らかいものがあればいいと思う。
- ・ のどに刺さらないようにヘッドの先がやわらかくなっていたらいいと思う。
- ・ 柔らかい素材で出来たら歯ブラシなら少しは不安感が無くなると思う。・歯ブラシを噛んでしまっすぐ使い物にならなくなるため、低価格で歯ブラシの頭が小さいのが何本も入ってる商品が欲しい。

【毛抜け防止】

- ・ 子供がガジガジ噛んでもブラシが抜けられないような歯ブラシが欲しい。

【滑り防止】

- ・ メーカーに対しては、手に持った時に滑りにくいものを作してほしい。

(2) 親の注意・配慮を重視する意見

【親の配慮】

- ・ 歯ブラシ中の安全性は親の責任だと思う。
- ・ 親が注意することが一番大事で責任だと考えている。
- ・ 行政やメーカーの注意喚起は限界があるので、親の責任において安全を守ることが大切。

【見守り】

- ・ 子供自身が危険を理解できないうちは事故は起こり得るため、保護者の見守りやしつけが大事。
- ・ 行政が何かするよりも、子供が歯みがきしているときは必ず大人が付き添うべきだと思う。
- ・ やはり最終的には親の責任だと思うので、危険だと感じる間は親が必ず見守るべきだと思う。

【躰、注意喚起】

- ・ 歯ブラシを持ったまま、歩き回ったり、遊ばないように言い聞かせている。

【その他】

- ・ 家では習慣的に立って磨いているが、保育園ではランチ後椅子に座って磨いている。歯磨きは座ってするものということが定着すれば、事故も減ると思う。子供が歯ブラシをくわえながら歩き回らないようにするには、親がまずそういう姿を見せないと身につかないと思う。

(3) 注意喚起・啓発を求める意見

- ・ どのような注意を保護者がすべきか、広く周知させて欲しい。
- ・ 歯ブラシをくわえたまま動くことが事故につながることをもう少し注意喚起したほうが良い。
- ・ 必ず歯磨きをするときは静止した状態で大人が見守った状態でさせることを徹底したほうがよい。CMなどを利用して。

(4) 現在製品に対する不満、不安

- ・ 適用年齢の違いがわからない。
- ・ 対象年齢の幅が広い商品が多いので、もう少し年齢ごとに分けたものが欲しい。
- ・ 噛む癖がありすぐダメになってしまうのが残念。噛んでももう少し強い歯ブラシだったらと思うことがある。

(5) 子供に対する注意喚起・啓発を求める意見

- ・ 子供に危険を知らせる動画の配信を期待している。
- ・ 子供向け番組で歩きながらの歯磨きは危険ということを人気キャラクターにPRしてもらおうとよいのではないかな。
- ・ 走ったらどうなるか、ふざけたらどうなるか等、子供達の好きな番組やアニメでも、もう少しアピールした方が実感がわく気がする。

(6) 対応を苦慮する意見

- ・ いくら注意しても歩き回ってしまうので困っている。
- ・ すぐに噛んでダメにしてしまうので、どうにかしたい。
- ・ 毎日のことなので、しっかり安全面も衛生面も見守っていきたいが、子供が多くなかなか目が行き届いていないのが現状。

(7) 子供に好まれる工夫を求める意見

- ・ 楽しく歯磨きができるような工夫があったらいいと思う。
- ・ もっと子供が興味を持てるような歯ブラシを開発してほしい。

(8) 磨き方の指導等を求める意見

- ・ 子供向けの歯ブラシのやり方 DVD などがあれば良い。
- ・ 親が何度言っても聞かない場合もあるので、販売店などで子供向けの歯磨き講座などを開いてほしい。

(9) 歯ブラシの安全性を見極める指標を求める意見

- ・ 安全性の基準が明確でない。
- ・ 本当に安全の高いものがわかりにくい。
- ・ より安全な歯ブラシの指標やマークなどを作ってほしい

(10) 事故事例の開示を求める意見

- ・ もっと具体的な事故例などを徹底周知させてほしい。
- ・ 行政での歯科検診等で、歯ブラシ使用中の事故の具体的な資料などをもっと積極的に示していけば、良いと思う。

(11) 注意事項の明記を求める意見

- ・ 注意書きは大きく書いてほしいです。
- ・ 歯磨きの仕方や注意すべきことを、ハッキリ分かりやすく表示してほしい。
- ・ 危険だという表示はもっと分かりやすいところに書いてほしい。パッケージに書いてあるとは気付いてない。

WEB調査票「子供の歯ブラシに関するアンケート」

F1	あなたの性別をお知らせください。
☐ 男性 ☐ 女性	

F2	あなたの年齢をお知らせください。
歳	

F3	あなたは、東京都に在住、在勤、在学していますか。
☐ はい（東京都に在住） ☐ はい（東京都に在勤・在学している） ☐ いいえ（いずれにもあてはまらない）	

F4	同居されている自分のお子様がいますか。
☐ はい → (人) ☐ いいえ	

F5	同居されているあなたのお子様について、あてはまるものすべてにチェックしてください。【複数回答可】
☐ 1歳未満 ☐ 1歳 ☐ 2歳 ☐ 3歳 ☐ 4歳 ☐ 5歳 ☐ 6歳以上	

◆●歳のお子様について回答してください。

F6	お子様は歯みがきを始めていますか。
☐ 始めている ☐ まだ始めていない ☐ その他（具体的に： ）	

Q3	保護者がお子様の仕上げみがきをするとき、お子様が一人みがきで使用している歯ブラシを使用していますか。
☐ 子供が一人みがきで使用している歯ブラシを使用する ☐ 子供が一人みがきで使用している歯ブラシとは別の歯ブラシを使用する	

Q4	保護者がお子様の歯みがきをするときに使用する歯ブラシはどのようなタイプですか。
☐ 通常タイプ ☐ コブ付きタイプ ☐ 安全具付タイプ ☐ 手持ちリングタイプ ☐ 電動歯ブラシ ☐ 仕上げ用 ☐ その他（具体的に： ）	



通常タイプ



コブ付きタイプ



安全具付タイプ



手持ちリングタイプ



電動歯ブラシ



仕上げ用

出典：消費者庁・国民生活センター「乳幼児の歯ブラシによる事故に注意！」

Q5	使用している歯ブラシを選択した理由をお答えください。（3つまで選択可） ※お子様が一人みがきで使用する歯ブラシ、保護者がお子様の歯みがきで使用する歯ブラシ、それぞれについてお答えください。	
	お子様が一人みがきで 使用する歯ブラシ	保護者がお子様の歯みがきで 使用する歯ブラシ
ヘッドの大きさ	☐	☐
握りやすさ	☐	☐
毛の硬さ、やわらかさ	☐	☐
価格	☐	☐
メーカー、ブランド	☐	☐
デザイン（イラスト、色）	☐	☐
キャラクター	☐	☐
安全性	☐	☐
表示のわかりやすさ	☐	☐
適用年齢	☐	☐
汚れを落とす効果	☐	☐
磨きやすさ、使いやすさ	☐	☐
その他 （具体的に記入ください→）	☐ 	☐

Q6	お子様の歯みがきに使う歯ブラシはどこで購入していますか。〔複数回答可〕
☐ スーパー ☐ 薬局・ドラッグストア ☐ ホームセンター ☐ コンビニエンスストア ☐ 100円ショップ ☐ ベビー用品専門店 ☐ インターネット通販 ☐ 歯科医院（歯科医の指導のもと購入） ☐ その他（具体的に： ）	

Q7	お子様の歯みがきの頻度を教えてください。	
	お子様の一人みがき	保護者によるお子様の歯みがき
一日3回以上	☐	☐
一日2回	☐	☐
一日1回	☐	☐
一日1回未満	☐	☐

Q8	お子様は何歳から歯みがきを始めましたか。	
お子様の一人みがき	歳 か月頃から	
保護者による歯みがき	歳 か月頃から	

Q9	お子様の歯みがきはどこでしますか。〔複数回答可〕	
	お子様が一人みがき	保護者によるお子様の歯みがき
洗面所	☐	☐
風呂場	☐	☐
居間	☐	☐
寝室	☐	☐
台所	☐	☐
その他 （具体的に記入ください→）	☐ 	☐

Q10	お子様は歯みがき（一人みがき）をどのような姿勢で行っていますか。 （複数回答可）
☐ 床に立って ☐ 台の上に立って ☐ ソファ・椅子の上に立って ☐ 床に座って ☐ 台に座って ☐ ソファ・椅子に座って ☐ 床やベッド等に寝ころんで ☐ その他（具体的に： ）	

Q11	お子様が歯みがき（一人みがき）をするときには、どなたか付き添っていますか。
☐ 子供一人だけ ☐ 子供だけ（兄弟姉妹と一緒に） ☐ たまに保護者が付き添っている ☐ 必ず保護者が付き添っている ☐ その他（具体的に： ）	

Q12	保護者がお子様の歯みがきをするときはどのような姿勢で行っていますか。 （複数回答可）
☐ 子供を床に立たせて ☐ 子供を台に立たせて ☐ 子供をソファ・椅子の上に立たせて ☐ 子供を床に座らせて ☐ 子供を台に座らせて ☐ 子供をソファ・椅子に座らせて ☐ 子供を床やベッド等に寝転ばせて ☐ 保護者の膝の上に乗せて、頭が動かないようにして ☐ その他（具体的に： ）	

Q13	お子様が歯みがきする又は保護者がお子様の歯みがきをするのに、どれだけの時間をかけていますか。
お子様の一人みがき	分程度
保護者による歯みがき	分程度

Q14	お子様は歯ブラシを口にくわえたり、手に持ったまま歩き回ることはいくらですか。
☐ いつも歩きまわる ☐ とくとき歩き回る ☐ たまに歩き回ることがある ☐ 歩き回ることはいない	

◆歯みがき中の歯ブラシによるケガをした、又はしそうな経験についてお聞きます。

※複数のお子様がいる方、複数の経験のある方は、危害又は危険が最も大きかった経験についてお答えください。

Q15	お子様が歯みがき（一人みがき）するとき、又は保護者によるお子様の歯みがきのときに、歯ブラシによって、ケガをした、又はケガをしそうな経験はありますか。※どちらも経験のある方はより重い経験についてお答えください
☐ はい（子供の一人みがき） ☐ はい（保護者による歯みがき） ☐ いいえ	

Q16	それはお子様が何歳の時ですか。
歳 か月頃	

Q17	お子様がケガをした、又はしそうな場所はどこでしたか。
☐ 自宅の洗面所 ☐ 自宅の風呂 ☐ 自宅の居間 ☐ 自宅の寝室 ☐ 自宅の台所 ☐ 幼稚園・保育所 ☐ 祖父母の家 ☐ その他（具体的に： ）	

Q18	その時、お子様はどのような状態でケガをした、又はしそうなになりましたか。
☐ ころんだ ☐ 人にぶつかった（具体的に： ） ☐ 物にぶつかった（具体的に： ） ☐ 台から転落した ☐ ソファ・椅子から転落した（堅くしっかりしたもの） ☐ ソファ・椅子から転落した（柔らかい不安定なもの） ☐ その他（具体的に： ）	

Q19	その時、お子様はケガをされましたか。
☐ ケガなどをして入院 ☐ ケガなどをして病院へ（入院除く） ☐ ケガはしたが病院には行かなかった ☐ 危ないと思ったが、ケガまではしなかった ☐ その他（具体的に： ）	

Q20	その時、お子様はどのようなケガをされましたか。
☐ 歯ブラシが刺さった ☐ 歯ブラシが当たり、切傷になった ☐ 歯ブラシが当たったが、出血等はなかった ☐ その他（具体的に： ）	

Q21	お子様がケガをした、又はしそうな歯ブラシはどのような歯ブラシでしたか。
☐ 通常タイプ ☐ コブ付きタイプ ☐ 安全具付タイプ ☐ 手持ちリングタイプ ☐ 電動歯ブラシ ☐ 仕上げ用 ☐ その他（具体的に： ）	



出典：消費者庁・国民生活センター「乳幼児の歯ブラシによる事故に注意！」



Q22

お子様がケガをした、又はしそうになったときの状況をできるだけ詳しくご記入ください。

〔例〕 いつ（歯みがき中だったか、場所を移動しているときか）／どこで／お子様の状況（どのような状態から転倒したか、どこから転落したか、誰・何とどのようにぶつかったか、何かしながら歯みがきしていたか）／歯ブラシの状況（折れた、刺さった）／そばにいた人／被害・症状／考えられる原因／その後の対応 など

Q23

お子様がケガをした、又はしそうになった原因は何であったとお考えですか。
〔複数回答可〕

- ☐ 歯ブラシの置き場所が悪かった
- ☐ 歯みがきをする場所が悪かった
- ☐ 歯みがきをする状態（姿勢等）が悪かった
- ☐ 保護者が目を離してしまった
- ☐ くわえたまま移動しない、歯ブラシで遊ばないなど、子供に注意していなかった
- ☐ 歯ブラシが壊れていた、壊れた
- ☐ 製品の注意表示が判りづらい、読みにくい
- ☐ 子どもに合わない（年齢、発育状況に適さない）製品を選んでしまった
- ☐ その他（具体的に：）

Q24

お子様がケガをした、又はしそうになったとき、製品についてどこかに報告しましたか。〔複数回答可〕

- ☐ 販売店
- ☐ メーカー
- ☐ 消費生活センター
- ☐ その他（具体的に：）
- ☐ 報告しなかった（理由をご記入ください↓）

◆子供の歯みがき事故の認識についてお聞きます。

Q25	歯みがき中のお子様の歯ブラシの取り扱いについて、危険性を感じていますか。
☐ とても危険と感じている ☐ 多少は危険と感じている ☐ それほど危険とは思っていない ☐ 危険と感じていない	
Q26	子供が一人みがきをしているときに転倒するなどして、口腔内に歯ブラシが突き刺さる事故が寄せられています。 このような事故があること、また、中には重症事例があることを知っていますか。
☐ 事故があることも、中には重症事例があることも知っている ☐ 事故が起きていることは知っているが、重症事例があることは知らない ☐ どちらも知らない	
Q27	事故を防ぐために、どのような対策をしていますか。〔複数回答可〕
☐ 安全に配慮された歯ブラシを選択している ☐ 歯みがきする場所に配慮している ☐ 歯みがきする姿勢に配慮している ☐ 歯みがき中歩くなど、移動させない ☐ 歯みがき中は必ず子供の側で見守っている ☐ 歯みがき中はできる限り子供の側で見守っている ☐ 子供が危ない行動をしていることに気づいたときは注意している ☐ 特に注意はしていない ☐ その他（具体的に： ）	

◆Q26で「子供の歯みがき事故が起きていることを知っている」と回答された方にお聞きします。

Q28	事故が起きていることについて、どこでお知りになりましたか。〔複数回答可〕
☐ テレビ・ラジオのニュース ☐ 新聞・雑誌 ☐ インターネットのニュース ☐ インターネットの口コミサイト ☐ 乳幼児健診 ☐ 小児科、歯科など医療機関 ☐ 家族・友人・知人 ☐ 子育てイベント等 ☐ 行政からのリーフレット等 ☐ その他（具体的に： ）	

◆子供の歯みがき事故の認識についてお聞きします。

Q29	歯ブラシのパッケージ裏面の「歯ブラシをくわえたまま遊ばない」といった使用上の注意を確認していますか。
☐ 注意表記を確認している ☐ 注意表記があることは知っているが読んでいない ☐ 注意表記がない、気付かない ☐ その他（具体的に： ）	

◆歯ブラシに対する要望についてお聞きします。

Q30	子供の歯ブラシの安全性について、感じることや考えていること(不安や疑問)、事業者(メーカーや販売店等)や行政への要望がありましたら、自由にご記入ください。